

2 0 0 0

授業概要

【シラバス】

教養科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN COLLEGE

目次 (教養科)

教養教育科目 (1年)

文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
西洋文学	6
近代日本の歴史	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	10
現代社会論	11
現代家族論	12
日本国憲法	13
市民生活と法	14
政治学入門	15
生活の経済学	16
心理学入門	17
マスコミュニケーション概論	18
自然科学史	19
生命の科学	20
生物と環境	21
生活の科学	22
健康の生理学	23
宇宙と地球	24
総合科目 人間	25~27
総合英語 I-1、2	28・29
海外語学研修	30
選択語学 I-1、2 英語	31・32
選択語学 I-1、2 独語	33
選択語学 I-1、2 仏語	34
スポーツA (テニス)	35
スポーツA (ダンス)	36
スポーツA (バレーボール)	37
スポーツA (バドミントン)	38
健康科学	39
スポーツ科学	40

専門教育科目 (1年)

教養演習 I	43~49
英国語学研修(事前指導含)	50
英語特別演習	51
英文の構造	52
英語の音声	53
リーディング	54
英語表現	55
英会話 I	56
英語圏の文化	57
文学の読み方	58
日本文学史	59
小説の世界	60
日本語表現法	61・62

比較文学	63
歴史の見方	64
古代の歴史(考古学を含む)	65
史料で読む歴史	66・67
日本文化論	68
生涯学習概論	69

情報・資格科目 情報科目 (1年)

情報検索演習	73・74
情報機器論	75・76

情報・資格科目 博物館科目 (1年)

博物館学	79
博物館実習	80
教育学概論	81

情報・資格科目 司書科目 (1年)

図書館概論	85
図書館経営論	86
図書館資料論	87
資料組織概説	88
資料組織演習	89
児童サービス論	90
図書及び図書館史	91

教養教育科目 (2年)

総合英語Ⅱ-1、2	95~98
選択語学Ⅱ-1、2 英語	99・100
選択語学Ⅱ-1、2 独語	101
選択語学Ⅱ-1、2 仏語	102

専門教育科目 (2年)

教養演習Ⅱ	105~112
卒業研究	113
英会話Ⅱ	114
時事英語	115
ビジネス英語	116
英米の歴史	117
インターネットの英語	118
異文化コミュニケーション	119
詩歌の鑑賞	120
説話文学	121
平安文学	122
中近世の文学	123
近現代の文学	124
英米の文学	125
民俗学	126
中近世の歴史	127
近現代の歴史	128

東アジアの歴史	129
日本女性史	130
芸能史	131
現代女性論	132
女性労働論	133
現代企業論	134

情報・資格科目 情報科目 (2年)

情報処理論	137
情報ネットワーク論	138

情報・資格科目 ビジネス実務士科目 (2年)

ビジネス実務総論	141
ビジネス実務演習	142
オフィス・マネジメント	143

情報・資格科目 博物館科目 (2年)

博物館実習	147
視聴覚教育メディア論	148

情報・資格科目 司書科目 (2年)

図書館サービス論	151
情報サービス概説	152
レファレンスサービス演習	153
専門資料論	154
資料特論	155
コミュニケーション論	156
図書館特論	157

教養教育科目（1年）

【授業科目】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>小説・映画・ドラマの中の世界は、どこにあるのか。それは我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」である。この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標である。</p>	
【テキスト】 随時プリントを配布する。	
【参考書】 講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような流れで講義する。具体的作品等はプリントを使って紹介する。</p> <p>①「フィクション」について。</p> <p>例えば「小説」に書かれたことは、要するに全て「作り事」、つまり「嘘」である。映画もテレビドラマも同様である。しかしなぜ、我々はそんな「嘘」に感動したり、強い影響を受けたりするのか。——このような問題を考察する。</p> <p>②「作品世界」の構造（しくみ）について。</p> <p>「作品世界」つまり「もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのか。そもそも、それは誰が「見ている」世界なのか。語っているのは「誰」なのか。少なくともそれは、いわゆる「作者」ではないはずである（例えば川端康成は「駒子」を「見る」ことは出来ない）。——このような問題から考察を始める。</p> <p>③フィクションと「現実」について。</p> <p>小説・映画・ドラマは「現実ではない」というが、では「現実」とは何なのか。何が「フィクション」で、何が「フィクション」ではないのか、の問題を考察する。</p> <p>○日本とヨーロッパの近代文学作品を中心に、美術・音楽も視野に入れた講義になる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の古典の多くが、受験文法の説明に使われるのみで、内容が知られないのは残念なことです。優れた古典は作品としての主張を持っており、現代に通じるものを必ず持っています。そのおもしろさに気づくことが、第一の目標です。そして、何が、何故おもしろいのかを検討し、文学の本質について考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岩波文庫『竹取物語』</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平安時代の『竹取物語』を取り上げます。姫はなぜ竹の中にいたのか。翁はどんな子育てをしたのか。で、姫は人間になったのか。なぜ月から追放され、よりによって人間界に来たのか。天皇を含む求婚者は、なぜ皆拒絶されたのか。知っているつもり の物語は、実は謎がいっぱい。</p> <p>I 『竹取物語』の構成と主題について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな口承の話型（化生説話、致富説話、難題婚説話、羽衣説話、地名起源説話）を組み合わせて、物語は、書くことによって、ある主題を追求していくようです。上記の疑問を解明しながら、物語のおもしろさについて考えます。 <p>II さまざまな竹取説話を知る</p> <p>『竹取物語』以外にも、様々な竹取説話が伝わっています。今昔物語、海道記、古今集注、奈良絵本、現代の絵本などから、関係の部分を見ていき、平安『竹取物語』の特徴について、あらためて考えたいと思います。</p> <p>III 参考：＜浦島太郎＞の異界について</p> <p>古く『万葉集』『風土記』などに見える話が、平安時代の漢文作品を経て、やがて謡曲や御伽草子に取られていきます。もう一つの異界（海神の国）の話を覗いてみましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 話し言葉の文芸	【担当者】 東 喜望
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>将来に資するために、口承文芸をとりあげます。 初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。 大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。</p>	
<p>【テキスト】 拙著『沖繩・奄美の説話と伝承』（おうふう・刊）</p> <p>他に資料プリント（配布）。〈スライド・ビデオ等の映像資料上映〉</p> <p>-----</p> <p>【参考書】 適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義の概要</u></p> <p>I. はじめに — 「わが国をニッポン」というのはなぜか。</p> <p>II. 口承文芸概説</p> <p>(1) 神話</p> <p>(2) 伝説</p> <p>(3) 昔話</p> <p>III. 文芸の起源</p> <p>(1) 自然と人間と神</p> <p>(2) 「謡い」「語り」の発生</p> <p>(3) 信仰と説話 — 個人レベルから国家レベルへ</p> <p>(4) 神話の発展 — 昔話・伝説へ</p>	
<p>【評価方法】 定期試験時の筆記試験。ただし、テキスト・ノート等参照可とする。</p>	

【授業科目】 西洋文学	【担当者】 衣川清子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">本年度のテーマ：西洋文学が映画になるとき</p> <p>最近、映画化される西洋文学作品が多い。良質のストーリーを求めると優れた文学作品に行き着くためと、優れた文学作品が文化的遺産として時代を超えて受け継がれているためであろう。一方、現代の視点と問題意識で作られた映画は、文学作品に新しい解釈をもたらすことがある。また映画化のたびに違った相貌を見せる作品もある。本講義では、比較的最近、映画化・公開された西洋文学作品を取り上げ、小説と映画との違いに着目しながら小説と映画それぞれの魅力を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし（プリント使用）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業中に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回一つの文学作品とそれを映画化した作品を取り上げて講義し、映画の一部を視聴し、時代を経ても色褪せない文学の魅力のありかを考えたい。</p> <p>取り上げる予定の作品：</p> <p>ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』（1811年）；同映画（1995年）</p> <p>シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』（1847年）；同映画（1944年及び1996年）</p> <p>ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』（1595年）；同映画（1968年及び1996年）</p> <p>ナサニエル・ホーソーン『スカーレット・レター』（1850年）；同映画（1995年）</p> <p>ルイザ・メイ・オルコット『若草物語』（1868年及び1869年）；同映画（1933年、1949年及び1994年）</p> <p>マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』（1936年）；同映画（1939年；リマスター版公開1998年）</p> <p>チャールズ・ディケンズ『大いなる遺産』（1860-61年）；同映画（1998年）</p> <p>アリス・ウォーカー『カラーパープル』（1982年）；同映画（1985年）</p> <p>エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』（1988年）；同映画（1993年）</p> <p>スティーヴン・キング『スタンド・バイ・ミー』（1982年）；同映画（1986年）</p> <p>スザンナ・タマーロ『心のおもむくままに』（1994年）；同映画（1996年）</p> <p>*作品は変更する場合がある。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点とレポート。</p>	

【授業科目】 近代日本の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 近代の日本はどのように成立したか。そのきっかけは何だったのか。具体的な経過は。それらを史実に即して明らかにしていく。</p> <p>開国以後、変革を求める人々の願いに支えられて活躍した幕末の志士たち。旧体制を維持しようと奔走した勢力。それらの対抗の中から生み出された維新体制の特徴をまず明らかにする。そして、明治国家の目標は、「近代化」の道のりにどのような問題点が、といったことを取り上げていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるので講義中に逐次紹介する。資料はプリントして配布する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>これらを通して、歴史的な考え方や時間の流れの中で移り変わり、変化をとげる社会を構造的にとらえる手法を身につけて欲しい。また、歴史を見つめる視角についても触れてみたい。</p> <p>以下のようなテーマを設けて話しを進める。歴史的な事件や人物などの細かい知識は不要。ダイナミックに近代の全体像をつかみ、その中でいろいろな形で歴史との関わりをもった人々に細心の注意を払い、その生き様をみつめる目を養うことが重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇歴史の勉強＝年代暗記、知識詰め込み－まずは固定観念の転換から ◇明治維新はいつからいつまで－日本近代の見取り図 ◇欧米世界との接触－ペリー来航の意味するもの ◇攘夷と尊皇－排外主義とナショナリズムうずまく長州藩 ◇公武合体と公権政体論－坂本龍馬の「船中八策」 ◇大政奉還と戊辰戦争－慶喜の決断と誤算 ◇維新政府の目指したもの－中央集権による富国強兵 ◇征韓と内治優先－大久保内務卿の企図 ◇国権と民権の相克－自由民権の主張と植木枝盛 ◇経済発展と貧困・スラム－「下層社会」を見つめる目 ◇軍拡と対外膨張を準備したものは－「近代化」の実相 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 西洋史概説	【担当者】 井関正久
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>19, 20 世紀の西洋近現代史を概観するとともに、現在進行中の欧州統合過程について考察する。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 松村尠/西川正雄/山口定, 地域からの世界史 (14) 『西ヨーロッパ』 (下) (朝日新聞社 1993 年)</p>	
授 業 計 画	
<p>まず 19 世紀の西洋近代社会の形成・定着・再編過程と自由主義・帝国主義の展開を概観する。次に、20 世紀に勃発した二つの世界大戦と西欧の衰退、そしてその後の東西冷戦の展開と終結について考察する。その際、冷戦の最前線に位置した旧東西ドイツに重点を置く。最後に、20 世紀西洋史の締め括りとして、冷戦終結後急速に展開する欧州統合過程の意義について考察する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、出席で総合評価する。</p>	

【授業科目】 東洋美術	【担当者】 鈴木 泉
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東洋美術の中核は仏教美術であり、その仏教美術を知るための基本的存在が仏像彫刻と 言って差し支えない。本授業では、この仏像彫刻の歴史的な展開を、東洋の端に位置する 日本を例に概観し、東洋美術の一面を垣間見ることにする。そこから、美術作品を見る眼、 さらには美術分野に関する教養・知識の幅を広げることが狙いではあるが、なにより受講 者諸君には、仏像を通して美術鑑賞の面白さを知ってもらいたいと考えている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いず、適宜プリント資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献等は必要に応じて授業中に紹介して行く。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>紀元前6世紀頃、釈迦によってインドに誕生した仏教は、紀元1世紀頃、礼拝対象とし ての仏教尊像すなわち仏像を造り出した。やがて、仏教の広まりとともに仏像もアジア各 地に伝わり、それぞれの国・地域でその表情や姿を変えて行くのである。</p> <p>通例「東洋」とは、インド以東、主に東南アジア諸国・中国・朝鮮・日本を指す語といっ てよい。しかし、その範囲は広く、各地域で文化の様相が異なり、美術様式も一様ではな いため、必然的に地域・内容を絞らざるを得ない。</p> <p>今年度も、我々にもっとも身近な日本の仏像彫刻を主に取り上げ、その様式の古代から 中世にかけての変遷について概観する。日本の美術は、常に大陸、とりわけ中国・朝鮮半 島の強い影響を受けて進展を遂げており、彫刻も例外ではない。そこで、本授業におい てこの点を十分に踏まえ、随時中国・朝鮮半島等の仏像を比較参照の意味で紹介して行き たいと思っている。なお、今年度は、インドにおける仏像の誕生から、それが日本へ伝播 するまでの経過にも注目し、特にインド・中央アジア・中国・朝鮮半島等における古代仏 像彫刻についても、多少詳しくふれたいと考えている。</p> <p>授業はおおよそ以下の順序（前後することもある）・内容を予定している。一つのテー マを1～3回の講義でまとめて行くつもりである（授業回数の都合により一部変更する場 合あり／ほぼ毎回スライドを使用する予定）。</p> <p>I. 仏像の誕生とその伝播</p> <p>①インド古代の仏像彫刻</p> <p>②インドから中国・朝鮮半島への流れと日本への伝播 中央アジア・中国・朝鮮半島各地域の古代仏像彫刻</p> <p>II. 仏像の見方</p> <p>③仏像の形式・材質・構造</p> <p>III. 日本における仏像様式の展開</p> <p>④飛鳥時代の彫刻～仏教伝来・渡来仏・止利様式と非止利様式・法隆寺の諸像</p> <p>⑤白鳳時代の彫刻～小金銅仏・当麻寺の諸像・旧山田寺仏頭・童顔童子形像</p> <p>⑥天平時代の彫刻～法隆寺塔本塑像・薬師寺、興福寺、東大寺、唐招提寺の諸像・ 写実様式の完成</p> <p>⑦平安時代の彫刻～唐招提寺木彫像群・密教尊像・一木造像・大仏師定朝と定朝 様式・和様化・寄木造像</p> <p>⑧鎌倉時代の彫刻～運慶、快慶と慶派仏師・宋風彫刻・新たな写実様式</p> <p>IV. 総括</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①平常点（出席状況＝2/3以上の出席が原則・受講態度等） ②レポート（1回）</p> <p>③定期試験（筆記）</p> <p>以上を総合して判断する。詳細はあらためて授業中に説明する。</p>	

【授業科目名】 演劇論	【担当者】 高橋秀雄			
【開講期】 1 年 前期				
【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。				
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない 参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）				
授 業 計 画				
<p>洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特徴を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教儀礼と演劇 2. 悲劇と喜劇 3. 能と「花伝書」 4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム 5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」 6. 歌舞伎と新劇 7. オペラとミュージカル 8. 比較演劇論 9. 現代と演劇 				
【評価方法】 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">左記3項による総合評価</td> </tr> </table>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価
<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価		

【授業科目】 現代社会論	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>本講義は「福祉国家」・「戦争」・「管理社会」を切り口として、現代社会、特に20世紀の日本社会を分析する。具体的な組織・制度・政策の考察を通して、現代人と現代社会との関係や現代国家にとっての個人の意味・価値などの諸問題を理解するために役立つ知識と分析の仕方を提供する。本講義の受講によって、学生たちは現代社会、特に20世紀の日本社会を福祉の視点で分析する知識と思考力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『日本型福祉国家の形成と「十五年戦争」』ミネルヴァ書房、1998年。</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <p>I 現代社会の特徴</p> <p>①現代社会の定義</p> <p>②20世紀の日本社会</p> <p>II 現代社会の面相(1) = 産業社会と消費社会</p> <p>①現代社会の発展の原動力：現代産業構造の形成</p> <p>②現代就業構造の形成</p> <p>③産業社会と現代人の意識構造の変化</p> <p>④消費社会と情報社会</p> <p>III 現代社会の面相(2) = 管理社会</p> <p>①「管理社会」のイメージ</p> <p>②管理社会化の現象・形態</p> <p>③社会主義社会 = 管理国家の一形態</p> <p>④福祉国家 = 管理国家の一形態</p> <p>⑤戦争国家 = 管理国家の極限状態</p> <p>IV 現代社会の面相(3) = 福祉社会</p> <p>①社会問題の諸類型</p> <p>②福祉社会の設定者・執行者 = 厚生省</p> <p>③福祉社会の柱の一つ = 年金保険制度</p> <p>④福祉社会の柱の一つ = 医療保険制度</p> <p>④福祉社会の柱の一つ = 生活保護制度</p> <p>V 総括 — 21世紀人類社会のゆくえ</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験(テキスト・ノートなど参照可)と出席状況。</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 人間にとって家族とは何か</p> <p>2. 家族のはたらき</p> <p>3. 家族のタイプ</p> <p>4. 家族のしくみ</p> <p>5. 家族と福祉</p> <p>6. まとめ</p>	<p>－ 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>－ 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一律に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>－ 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>－ 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>－ 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。</p> <p>(1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>－ 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目】 日本国憲法	【担当者】 松田 浩
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、日本国憲法の仕組みと働きの大枠を理解することを目標にします。みなさんがこれから市民として、職業人として生活していくうえで、最低限必要な憲法や法についての基本的な考え方を、この授業を通じて身につけて下さい。</p>	
<p>【テキスト】 無</p>	
<p>【参考書】 さしあたり、芦部信喜『憲法』（岩波書店）。「面白い本」ではありませんが、日本国憲法についてのスタンダードな知識を得たい方は手にするといいでしょう。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、日本国憲法とは何か 2、日本国憲法の基本原則 3、国民主権・天皇制 4、平和主義 5、基本的人権総論 6、精神的自由権 7、経済的自由権 8、人身の自由・国務請求権・参政権 9、社会権 10、統治機構総論・国会 11、内閣・財政・地方自治 12、裁判所・違憲審査制 13、憲法改正 	
<p>【評価方法】 平常点（出席）と期末試験で評価</p>	

【授業科目】 市民生活と法	【担当者】 武藤健一
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>2年後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出ていって見て、女性として遭遇すると思われる事柄・問題について、法律という観点を加えて、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>適当なものがないので、テキストは使いません（レジュメ配布）。</p>	
<p>【参考書】 伊田 広行 「シングル単位の社会論」（98年 世界思想社）をあげておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代日本では女性がどのような状況におかれているのかということ、1° 就職・労働、2° 恋愛・結婚・家族、という2本の柱を立てて、社会学的に、法学的に考察していきます。</p> <p>ちなみに去年は、1° :①M字型雇用 ②不況 ③就職 ④総合職・一般職 ⑤セクシュアル=ハラスメント ⑥転職 ⑦派遣労働 ⑧育児・介護休暇 ⑨保育 ⑩パート労働 ⑪性別職務分離と男女賃金格差 ⑫雇用機会均等法 ⑬労働基準法 2° :①恋愛観・結婚観 ②結婚 ③家事 ④育児 ⑤夫・恋人の暴力 ⑥子どもの虐待 ⑦離婚、を取り上げましたが、今年度は項目を少し減らし、ビデオを見る回数を増やすなど、余裕のある形にしたいと思います。</p> <p>注意</p> <p>飲食等、人に迷惑がかからないことは何をしてもいいですが、授業に関係のないおしゃべりは許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>昨年度同様に、学年末に試験を行ない、授業での出席点（・レポート点）を加味して評価をしたいと考えています。</p>	

【授業科目】 政治学入門	【担当者】 梅田 欽 治
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主権者の一人として、日本と世界の政治に関心を持ち、自立した自分の意見をもてるようになること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のなかで資料を配布し、それをテキストにします。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業のなかで紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>「政治なんて嫌い」「政治は私には関係ない」「政治は難しくて、わからない」などという人がいるかもしれません。本当にそうなのだろうか。</p> <p>実は、政治は面白いのです。私たちの生活に直接、関係しているのです。どうして、いまの日本の政治に怒らないのか、憤らないのか、このままで私たちの未来があるのだろうか。知りたい人は、この授業を受けたらよい。毎回、なにか新しい発見があるでしょう。</p> <p>今年は2000年、20世紀の最後の年です。そこで20世紀とはどういう時代であったか、を考えることにしたい。21世紀をどういう時代にしたらよいか、という展望は20世紀のなかにヒトがあるのです。</p> <p>20世紀の歴史のなかで、政治について学びましょう。その学び方のなかで政治学を知ることしましょう。戦争と平和、人権・環境…大切な課題がたくさんあります。</p> <p>私たちは日本国の主権者なのです。私たちが政治を動かすのです。政治学入門はそのために学ぶのです。入門ですから、気楽に受講しなさい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と試験の結果で評価します。</p>	

【授業科目名】 生活の経済学	【担当者】 内山哲朗
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本経済を「生活の豊かさ」の視点より取り上げ、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点を目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域—— 2 戦後日本経済の展開過程——時期区分—— 3 戦後日本の生活の変容 4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理—— 5 「生活の豊かさ」と高齢社会 6 「生活の豊かさ」と環境問題 7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター—— 8 生活福祉と社会政策 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学入門	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 心理学の基本的なテーマについて紹介します。 性格と性格形成、性格の問題に対する取り組み、および対人関係のをめぐる問題を基本的なテーマとします。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 指定図書：割り当てられた週に利用して下さい。 図書館に指定図書を何種類か、用意してあります。 1週間借り出して、簡単な内容紹介と、感想文をレポート1枚程度にまとめて出して頂きます。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の成立 心理学の流れと、基本的な考え方。 2. 幼児期と性格形成 幼児期の問題、特に母性剥奪をテーマとしたVTRを利用します。 3. 意識と無意識：精神分析の人間理解(1) Freudの思想と精神分析の概説 4 同 (2) libidoの発達と防衛機制 6 同 (3) 7 同 (4) 物語と夢の分析 8 性格について(1) 基本的な性格論 9 性格について(2) 性格理解の試みについて 10 対人関係について考える 11 人間の問題へにどのように取り組むか カウンセリング、心理療法の役割 	
【評価方法】 平常点、中間試験、レポートで評価します。	

【授業科目】 マスコミュニケーション概論	【担当者】 瀬木博道
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代ともいえる。これを初歩から読み起こし、マスコミ現象が社会に及ぼす影響について考えらるるようになりたい。社会で実際に必要となる広告、広報の理論も重点的に学びたい。</p>	
<p>【テキスト】 瀬木博道ほか共著「コミュニケーションあるPR」電通</p>	
<p>【参考書】 瀬木博道ほか共著「広報の基礎工」日経広告研究所</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. マスコミの理論 (上) 2. 同 (下) 3. マスコミの実際 4. ジャーナリズムの理念 5. 日本と欧米ジャーナリズムの違い 6. メディアとしてのテレビの長所短所 7. 言論の自由と知る権利 (上) 8. 同 (下) 9. 広報概論 10. パブリシティとは 11. 国際広告 12. 記者クラブの問題 13. 広告概念 	
<p>【評価方法】 学期^末の筆記試験で決める。ただし、出席状況、受講態度は参考にする。</p>	

【授業科目】 自然科学史	【担当者】 柳下登
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学の歴史はヒトから人間化への歴史である。人間は古代から生命、広くは生物的自然に強い関心を持ち、それについての理解は紆余曲折を経て科学の姿を整えてきた。この講義ではそれぞれの時代の定説がより科学的な考えにとってかわった過程を追求することにした。そして、今日では生命科学の成果は生命操作の時代を迎えた。そこで、現代の生命科学をもとに確立したバイオテクノロジーと人間や社会の未来についての課題にも言及したい。</p>	
【テキスト】 プリントを中心におこなう予定。	
<p>【参考書】 新編自然科学入門（甲斐義幸）学術図書、科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書、近代科学の歩み（H. バターフィールド）岩波新書、遺伝子組換え作物に未来はあるか（柳下登ら）本の泉社</p>	
授 業 計 画	
<p>1) 科学を成立させた人間の条件</p> <p>a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 生きること（生活）が自然についての理解を深める f. 道具で道具をつくる g. 定住と農耕 h. 技術が先か科学が先か</p> <p>2) 古代のエジプトとギリシアでの科学の起こり</p> <p>3) 生き物の本質を求めて</p> <p>a. アリストテレス生命の完成への目的 b. ヘルモントラの自然発生説 v s パスツールの実験 c. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ d. ラマルク：生物は段々と複雑になった e. ダーウィン：生物は共通の祖先から f. オパーリの生命の起源と「自然発生」説の復活 g. メンデルの遺伝の粒子説 h. ワトソン・クリックのDNAの2重らせん i. バイオテクノロジーの確立と人間、社会の課題</p> <p>4) 私の研究史：ピートン物語</p>	
【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他自発的なテーマ設定の提出物を評価に加える。	

【授業科目】 生命の科学	【担当者】 小作明則
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 21世紀を迎えようとしている今日「生物の多様性」の維持は地球上の生物環境をより安全な状態で維持していくための大きな課題である。この生物の多様性を支えている「生命」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史学的な理解を深め、さらに地上における「人類」が抱える今後の諸問題について概説する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>----- テキスト・参考書は特に指定しない。 -----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>この講義では授業目標に掲げた内容を理解するために、おおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけが目的ではなく、できる限り実物を自分の眼で見、手で触り、バーチャルではなく五感を持って理解することを目的としたい。</p> <p>以下に時間ごとのおおよその講義タイトルを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来 2. 地球と水と生命誕生 3. 地球型生物の特徴と進化 4. 分子生物学と進化 5. 植物と動物の分化と進化 6. 生物の存在と地球環境の変化 7. 脊椎動物の進化 8. 生殖方法の変化と動物進化 9. サルとヒト <p>以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩等実物を見ながら生命について考えていこうと考えている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポートあるいは筆記試験</p>	

【授業科目】 生物と環境	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類は多くの生物たちから様々な恩恵を受けてきた。しかしこの多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人類による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は私たち人類の将来にかかわってくる。ヒトと生物とその生存環境を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>OUR STOLEN FUTURE 邦訳『奪われし未来』 1997.9 翔泳社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>今から30年以上前に、海洋生物学者のRachel L. Carsonは『Silent spring』で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？知らないことが幸せなのか、知ることが不幸せなのか。</p> <p>授業は決して易しくはありません。幅広い基礎教養が要求されるはずです。今までの勉強がどれだけのものだったかが判ると思います。知る努力を惜しまず、共に考え続けていきたい。</p> <p>自然科学の世界 単位について 環境とは 生物の世界 生態系、その構造と機能 天然化学物質と合成化学物質 沈黙の春 環境汚染 内分泌攪乱物質 奪われし未来</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点+筆記試験</p>	

【授業科目】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住ならびに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している原子や分子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本授業の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「物質とは何か」-化学の基礎- 東京教学社</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗いてみよう。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何により決まるのだろうか。 6. 物質の状態は何により決まるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酸は何故酸っぱく感じるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 人や物質の老化は防げるか。活性酸素の化学。 12. 物質科学とエネルギー。 13. 物質科学からみた衣類、高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 21世紀の物質の世界を考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、レポート、出欠により評価する</p>	

【授業科目】 健康の生理学	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 1. 健康の概念と健康管理活動の原理の理解 2. 人体各器官の生理機能の理解 3. 疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の習得 4. 女性の医学 5. 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定）：自己測定を行い健康への関心を高める	
【テキスト】 シンプル 衛生公衆衛生学（改訂第9版）南江堂	
【参考書】 栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論 南江堂 新・健康管理概論（改訂第2版）医歯薬出版	
授 業 計 画	
第1回 健康の概念 第2回 疾病予防と健康管理（I-1）：わが国の健康水準と健康増進施策 第3回 疾病予防と健康管理（I-2）：生活習慣病（癌・心疾患・高血圧） 第4回 疾病予防と健康管理（I-3）：生活習慣病（脳血管疾患・糖尿病・高脂血症） 第5回 疾病予防と健康管理（II）：健康管理法 （肥満・運動・ストレスと休養・飲酒・喫煙などの健康への影響） 第6回 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定） 第7回 女性の医学（I）（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン） 第8回 女性の医学（II）（主な疾患の概要） 第9回 女性の医学（III）（性病・人工妊娠中絶と避妊法） 第10回 学校保健・産業保健 第11回 環境保健・母子保健・地域保健・ 第12回 感染性疾患（インフルエンザ・肝炎・AIDSなど） 第13回 成人・老人保健 第14回 保健医療制度と法規	
【評価方法】 出席点と筆記試験	

【授業科目】 宇宙と地球	【担当者】 猪郷久義
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>地球上で我々が生活の舞台としている自然環境は、地球全体から見ればごく限られている。また46億年の悠久の地球史という立場から見ると、人類史はほんの一瞬である。現代の宇宙観・地球観を通して改めて自然環境とその変遷、特に生物が関与してきた地球環境の変遷史を探究し、身の回りの自然環境に理解を深め将来を展望しよう。また自然災害と防災科学という身近な面からも地球をもっと知ろう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>その都度適当なものを推薦する予定</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業は通常の講義に加えてスライドやOHPによる討論などを加えて行うがその主なトピックスは下記の子定である。</p> <p>現在の地球観（大陸移動説からプレートテクトニクスとプルームテクトニクス）</p> <p>自然災害の地球科学（地震と火山とつき合う・海水面変動・気候変動）</p> <p>地球環境変遷史（原始地球の自然環境・最古の生命・酸素と二酸化炭素・酸化鉄の沈澱・シアノバクテリア・エディアカラ動物群・進化の実験場ー澄江動物群とバーゲス頁岩・植物と脊椎動物の上陸作戦・ジュラシックパーク・恐竜時代の終焉・哺乳類の春・氷河時代と人類・縄文人に学ぶ）</p> <p>宇宙のなかの地球（隕石と惑星の科学・太陽系の誕生・宇宙の誕生）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>論述形式のテスト</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>【総合科目人間全体について】</p> <p>1年間で3人の教員が担当する総合科目であり、「ヒューマニズムと人間」の考察が大目標である。</p> <p>鍾（前期前半）→栗田（前期後半）→平賀（後期）の順で講義する。</p> <p>【栗田担当分について】 哲学的なアプローチで「人間・ヒューマニズム」を考察する。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>「ヒューマニズムは間違っている」と言う人は多くないが、では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。「人間を大切にするのは当たり前だ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。要するに、「世間的通念」に流されているだけである。「ヒューマニズム」は白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されねばならない。</p> <p>こうした立場から、おおむね、以下の順に講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」態度について。 ② 「自己」と「世界」 ③ 我々の状況—近代に於ける「人間」の問題 ④ 「近代ヒューマニズム」思想の問題点 ⑤ アイデンティティーと共同体 	
<p>【評価方法】 <u>1年間を通して</u>（3人の教員が各々の担当部分の評価を持ち寄り）<u>全体として成績評価を下す</u>。</p> <p>栗田担当部分の評価は、レポートにより、出席点を加味する。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>本講義は中国の事例を中心に、国際比較を通して、①自然に対する人間の意味付与と自然への融和、②人間の拡張欲望、③人間の消費欲望、④人間の欲望を実現・制限する現代国家、について分析する。日本人と中国人の人間像の異同及び現代国家における個人・家族の苦闘を探究する。異文化比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは人間、現代国家、外国を相対的に見るための知識と能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『中国民衆の欲望のゆくえ — 消費の動態と家族の変動』新曜社、1999年。</p> <hr/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <p>I 自然に対する人間の意味付与と自然への融和 ①中国の住宅と日本の住宅との比較 ②「風水」信仰の意味・背景・影響</p> <p>II 人間の拡張欲望 — 家族の日中比較 ①外国人が見る日本の家族構造の特徴 ②中国の家族構造と伝統文化の深さ ③中国の「一人っ子政策」と日本の少子化 ④中国女性の社会的地位と日本女性の社会的地位</p> <p>III 人間の消費欲望 ①中国民衆の消費動態 ②近代化が進む中国民衆と日本民衆との共通点</p> <p>IV 人間と国家 ①人間の欲望を実現する手段とする現代国家 ②人間の欲望を制限する装置とする現代国家</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験（テキスト・ノートなど参照可）と出席状況。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期のヒューマニズムと人権に引き続き平和について考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるとはどのような状態をいうのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを一緒に考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>差し当たっては最も平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争について、過去の戦争や現代の地域戦争の実態を知ることからはじめ、ついで、それらの原因として重要と思われる国民国家の成立過程やナショナリズム形成の問題を取り上げる。そして、そういった戦争状態を回避するための取り組みがどのように行われてきたかを検討し、過去、現在そして将来におけるその有効性について考える。また、そういった行動の背景となった近代の平和思想の歴史についても触れてみたい。</p> <p>次のようなテーマで話しを進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇アジア・太平洋戦争と人・物・カネの総動員システム ◇現代の地域紛争 ◇核危機とゼロサム社会の現実 ◇近代国民国家形成とナショナリズム ◇近代の平和思想の歴史 ◇平和への取り組みと可能性－我々の憲法、国連の改革、NGO ◇平和への課題－人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聞き取りをてがかりに、基本的な英語運用能力を養成しなおす。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>大学に入学して、意欲にあふれる時期に、初心に戻って英語の根幹を学んでいただく。切実に英語を学び直したいと願っている人は、積極的に参加していただきたい。最初はわかりきったところからはじめるが、少しずつ難しくなっていくので、気を抜かないこと。それから、クラスの人と仲良くなること。語学は、コミュニケーションのためにある。知らぬ人と友達になるのも語学の重要な役目のひとつであろう。(それに、仲間がいるとさぼらずに進歩するから。)</p> <p>最初の数カ月は、基本的な発音、語彙、文法をみっちり詰め込む。説明されたことを理解したら、その場ですぐに使って覚えていく。指示されたことや思いついたことを口に出していってみる。テープによって、発音や基本的な会話のリズムを確認する。いずれも、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになる。このようにして前期に基本的な運用能力を高めた上で、後期に読解を導入していく。「訳す」のではなく「読む」ことが目標である。</p> <p>小テストを行うことによってさらに理解と記憶を確かなものにしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語 I - 1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニングおよびリーディングを中心にして、英語の基本的技能を維持し、向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>1) Step-up Interactive Listening (KINSEIDO)</p> <p>2) リーディング用テキスト (検討中)</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>今までの学習を通して培ってきたはずの英語の基礎知識を確認しながら、実際の場面でも活用できるコミュニケーション能力を、是非少しでも獲得できるような授業をしたいと思っている。</p> <p>また、比較的易しい英文を読んで、短い時間で要点を押さえる練習をしていきたいと考えている。学生には是非毎回の積極的な参加をお願いしたいと思う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目名】 海外語学研修	【担当者】 瀧口 優														
【開講期】 1年夏期集中（前期5回の事前指導を含む）															
【授業目標】 イギリス、リーズ市に3週間ホームステイし、メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加しながら、日常生活の英語に慣れ、積極的にネイティブ・スピーカーや様々な国々の青年とコミュニケーションできるようにする。また、イギリスの文化に直接慣れ親しむ。															
【テキスト】 事前指導において指示します。															
----- 【参考書】 必要に応じて指示します。															
授 業 計 画															
<p>前期に5回（その他出発直前に1回）、渡航すべてに関わる事前指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスポートの取得 ・渡航手続き ・イギリスの文化的知識の習得、現地生活に関するアドバイス ・基本的な英会話 <p>（事前指導などの連絡は教務掲示板を注意してみることに）</p> <p>英国リーズ市でホームステイし、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに3週間参加します。現地の授業は、ネイティブ・スピーカーによる少人数クラスで行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 8月3日～8月28日（予定は変更になることもあります） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>8/3 成田出発→ロンドン・ヒースロー着</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>8/4 ロンドン市内観光</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>8/5 ロンドン→リーズへ移動</td> <td>ホームステイ開始</td> </tr> <tr> <td colspan="2">8/7～8/24 語学研修</td> </tr> <tr> <td>8/25 リーズ→ロンドンへ移動</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>8/26 ロンドン市内観光</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td colspan="2">8/27 ロンドン・ヒースロー→8/28 成田着</td> </tr> </table> <p>帰国後反省会を行います。</p>		8/3 成田出発→ロンドン・ヒースロー着	ロンドン泊	8/4 ロンドン市内観光	ロンドン泊	8/5 ロンドン→リーズへ移動	ホームステイ開始	8/7～8/24 語学研修		8/25 リーズ→ロンドンへ移動	ロンドン泊	8/26 ロンドン市内観光	ロンドン泊	8/27 ロンドン・ヒースロー→8/28 成田着	
8/3 成田出発→ロンドン・ヒースロー着	ロンドン泊														
8/4 ロンドン市内観光	ロンドン泊														
8/5 ロンドン→リーズへ移動	ホームステイ開始														
8/7～8/24 語学研修															
8/25 リーズ→ロンドンへ移動	ロンドン泊														
8/26 ロンドン市内観光	ロンドン泊														
8/27 ロンドン・ヒースロー→8/28 成田着															
【評価方法】 事前指導、語学研修の参加（修了証取得）と帰国後のレポートにて評価															

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2英語	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>地球環境問題について考え、健康な生活を送るための身近な話題や生活に役立つ最新健康情報を学ぶから英語力を養成することを目指します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Environment and Health Seibido, ¥1,700</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>20の lesson を一年間通して読み、それぞれの問題点を認識していきたいと思います。</p> <p>授業にお席する前に、必ず Reading は読んでくること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席回数、平常の小テスト、及び期末テストを総合して評価。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 英語	【担当者】 スワツ、w、ローレンス
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
【テキスト】 ありません	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキットを作り、おぼえ、そのあと演じてもらいます。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents <p>注：このクラスを取る学生は全部のクラスに出席すること。理由のいかんにかかわらず、欠席は認めない。</p>	
<p>【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 独語	【担当者】 川口眞理
【開講期】 ①年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文法の理解、および「読む、聴く、書く、話す」の様々な練習を通じて、一年間でドイツ語の基礎力を付けることを目指します。</p>	
<p>【テキスト】 『新・問いかけたドイツ語』 大谷弘道・大谷ウルスラ著 三修社</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>最初の時間では、「新・問いかけたドイツ語」をテキストにドイツ語の基礎的な文法を体系的に理解することに努めます。主に「読む、書く」能力のためのレッスンです。</p> <p>次の時間では様々なエッセイ教材を用いて簡単な日常表現を覚える。そして聴き、自分が実際に使う練習を行います。主に「聴く、話す」能力のためのレッスンです。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、課題への取り組み方、学期末試験の成績を総合的に評価します。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1、2 仏語

【担当者】 村山知恵

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

皆さんにとって初めて学ぶ言語を、大きく視野を広げられるよう、楽しく習得しましょう。まず大事な発音、文字、文章、文法などの基本をしっかりと学び、フランス語を話す人々の考え方、文化、歴史を知っていきましょう。

【テキスト】

『モン・フランセ』 数藤ゆきえ・酒井由紀代著 駿河台出版社

【参考書】

《Refl ets 1》ビデオ教材

授 業 計 画

月曜日 1 時限：文法を中心に教科書を使って授業をします。

3 時限：《Refl ets》というビデオ教材を使って、目から、耳から、生のフランス語に親しんでいきます。パスカル、ジュリー、ブノワという 3 人のフランスの若者が共同生活をしながら社会人となっていきます。皆さんとほぼ同じ年頃のフランスの若者は、どんなことを考えどんなふう生きてでしょうね。楽しみです。

【評価方法】

学期末試験

【授業科目】 スポーツA (テニス)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主にダブルスのゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲームによる応用技術、戦術の獲得へと移行し、なるべく早い段階からゲームを行いルール、マナーの理解を深めたい。 後半はリーグ戦を行い、より高い技術、戦術の習得とテニスの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ラケット操作に慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) ストローク (フォアハンド&バックハンド)</p> <p>サービス (アンダー&オーバー)</p> <p>ボレー (ロー&ハイ)</p> <p>ロビング、スマッシュ等の基礎技術の練習</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして)</p> <p>(1) ルール、コートマナー、エチケット及び試合の進め方について</p> <p>(2) ダブルスペアの決定</p> <p>4. ゲーム技術の習得 (主にダブルスゲーム)</p> <p>(1) スポンジボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション)</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p> <p>*雨天時には、屋内においてスポンジテニス等を行います。</p> <p>*ラケットは貸し出しますが、持参してもかまいません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点</p>	

【授業科目】 スポーツA (ダンス)	【担当者】 松村 朋子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>・ストレッチやエアロビクスによって、運動不足の解消、運動機能の向上をはかるとともに、ダンスに親しむ。そして、用具を使わず、自分のからだだけで運動でき、さらに、芸術的センスを磨くことのできるダンスを通じて、楽しみながら運動することを体験してほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、ストレッチ からだ全体を使って、自由に運動できるように柔軟性を高める。普段あまり使わない筋肉を意識的に動かす。</p> <p>2、基本コンビネーション 歩く、走るを基本とするエアロビクスの中に、スキップ、サイドステップ、ジャンプなどを取り入れた短いコンビネーションを習得する。</p> <p>3、ダンスプログラムの習得 コンビネーションを組み合わせて構成されたプログラムの振付を覚える。</p> <p>4、グループでのダンス構成と実演 習得したコンビネーションをグループで隊形変化をつけたり、一部振付を行い、ダンスプログラムをつくり発表する。ビデオ撮影を行い、クラスで鑑賞する。</p> <p>*運動可能な服装・シューズで授業に出席すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と授業態度を特に重視する。作品発表を実技テストとする。</p>	

【授業科目】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>6人制のゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲーム、ソフトバレーボール等による応用技術、戦術の獲得へと移行し、早い段階からゲームを行い、ルール、ポジションの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、バレーボールの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ボールに慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) 基本動作の練習 レシーブ (オーバー&アンダー)、スパイク、サービス</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして)</p> <p>(1) ルール、マナー及び試合の進め方について</p> <p>(2) 戦術、ポジショニングの反省</p> <p>4. ゲーム技術の習得 (6人制)</p> <p>(1) ソフトバレーボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション)</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点</p>	

【授業科目名】 スポーツA	バドミントン	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 後期		
【授業目標】 * 練習の仕方、試合の仕方、観戦の仕方などを、 段階的に技術を学んでいくなかで、習得すること * 自分たちだけで試合ができるようになること		
【テキスト・参考書】 特に指定しない		
授 業 計 画		
<p>自分たちだけで試合ができるように、以下の順で進行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニゲーム 2. ドリル 3. ダブルスでのゲーム 4. シングルスでのゲーム 5. セットイング形式でのゲーム <p>以下の技術についての基礎練習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーブミス 2. クリア 3. ヘアピン 4. スマッシュ 		
【評価方法】 ・ 技術、態度、知識（小テスト）を評価する。		

【授業科目名】 健康科学	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間性豊かで健康的な生活を確立するために必要な能力と態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の健康問題と健康に対する考え方について ・健康の破壊と成立の条件について ・健康の設計と処方について 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 使用しない</p> <p>参考書 宇土正彦・正木健雄監修：青年の健康と運動、現代教育社、1995年。 国立大学等保健管理施設協議会編：学生と健康、南江堂、1996年。他</p>	
授 業 計 画	
<p>人間性豊かで健康的な生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践的な行動能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会的な環境に大きな影響をうけている。そして、その解決には、人間の生物学的側面はもとより、行動学的側面や環境的側面、保健医療体制的側面を抜きにしては考えられない。</p> <p>授業では、このような健康観に立って行動学的側面や環境的側面を中心に、疾病予防と健康増進の学問としての、新しい健康科学の知見や考え方について解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、健康科学の概念 2、今日の健康問題 3、疾病の疫学と健康の成立条件 4、主体と健康 5、環境と健康 6、保健行動と健康 7、保健医療体制と健康 8、健康問題Ⅰ（アレルギー） 9、健康問題Ⅱ（ストレスと精神的健康、ダイオキシンと環境ホルモン） 10、健康問題Ⅲ（生活習慣病：がん、脳卒中、虚血性心疾患、糖尿病、肥満） 11、健康問題Ⅳ（薬害：サリドマイド、スモン、エイズ） 12、健康生活の設計と処方 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（2回のペーパーテスト、学習への意欲）</p>	

【授業科目名】 スポーツ科学	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを見て楽しめるようになること、 　　スポーツをしてみたいくなること ・ スポーツを社会現象として、批判的に見る眼を養うこと 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>AERA MOOK「スポーツ学のみかた」朝日新聞社</p> <p>日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなトピックを扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツと科学：スポーツ科学の全体像 2. ジャンプ競技と揚抗比 3. ポブスレーとクロストレーニング 4. スポーツの技術・道具の変化と科学 5. 滑降競技と乳酸 6. 滑降競技と環境問題 7. ドーピング問題と日常生活 8. スポーツとアイデンティティ：ラクロス、カーリング 9. スポーツとルール 10. スポーツと遊び 11. スポーツ解説と分析 	
<p>【評価方法】</p> <p>各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。</p>	

專門教育科目（1年）

【授業科目】 教養演習 I	【担当者】 東 喜望
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 <u>〔海と列島の説話〕</u> 日本は広大なアジア大陸の東方海上に浮かぶ島国です。この島国に伝えられる口承文芸には、島の外からやってきた話や、外の島々へ伝承されて行った話があります。そんな話をとりあげ、歴史には描かれなかった、この列島内部の問題や周辺諸国との関係を考察します。</p>	
【テキスト】 資料プリント。 その他、適宜指示する。	
<p>-----</p> 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 準備講義 2. とりあげる説話(予定) <ol style="list-style-type: none"> (1) 浦島説話 (2) 桃太郎説話 (3) 徐福伝説 (4) 平家落人伝承 (5) 為朝伝承 	
【評価方法】 レポート。ゼミ・テストを実施する場合もある。	

【授業科目】 教養演習 I	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ゼミ参加者の意見を入れながら、古代（奈良・平安時代）の文学作品について研究していく。できれば、日本の文学作品の中でも最高峰に位置する『源氏物語』に取り組んでみたい。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【前期】</p> <p>さまざまな物語絵巻（伊勢物語絵・源氏物語絵巻）を調べながら、どのような物語があるのかを知り、平安時代の物語享受の形をつかんでいく。絵詞を読んだり、ビデオ、アニメ、漫画などで、物語の梗概を理解できるようにしたい。</p> <p>【後期】源氏物語の場合</p> <p>第一部の枢要な巻である、「柊（さかき）」「滯標（みおつくし）」をとりあげる。光源氏が、少年から大人になる前後のあたりである。3つの予言が出揃うが、どのようにして、源氏は栄華を手に入れるのか。様々な女性の犠牲の下に、予言は実現するが、果たして幸せなのかどうか。何故、続いて第2部が書かれなければならなかったのか。問題は多い。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅰ	【担当者】 栗田 廣美
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 —— 1年次の目標</p> <p style="text-align: center;">近代文学の名作を多読し、魅力を実感する。</p> <p>まず、「自由で素直な読み」と、個性的な「自分の中に広がるイメージ」を大切にします。小説は、もともと「どう読もうと自由」なものだからです。</p> <p>その中で、文学の魅力を「より深く味わえる力」を養い、「研究」の土台を作ります。</p>	
<p>【テキスト】 「教科書」は用いない。</p> <p>ゼミの進行にあわせて、順次、指定された本（安価な文庫本）を購入する必要がある。</p>	
<p>【参考書】 必要に応じ、演習中に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 今まで文学作品を多く読んで来た学生も、ほとんど読んで来なかった学生も、栗田ゼミに入ったら、<u>「読書を続ける毎日」を覚悟する必要がある</u>。文学研究の第一の土台は、「読むこと」「読むこと」「読むこと」。</p> <p>——「<u>読書力</u>」は、豊かな「<u>読書量</u>」によって成長する。</p> <p>「今まで読んで来なかったから」などと、心配することはない。<u>意欲さえあれば</u>、十分について来ることができる。<u>意欲と決意が大切</u>。</p> <p>2 初めのうちは、僕（栗田）が、ていねいに「紹介＝解説」するが、しだいに、学生諸君自らが、作品について「語れる」ようにする。</p> <p>文学研究の第二の土台は、自ら受けとめた作品のイメージや作品の魅力、問題点を「しっかり把握する」ことであり、また、他の学生の「読み」から刺激を受け、自分の「読み」を深めることである。</p> <p>3 課題とする作品は、「文学・フィクションと人間」講義、「小説の世界」講義、「比較文学」講義、来年度の「近・現代の文学」講義でとりあげる作品を中心とする（それぞれの頁を参照せよ）。——したがって、栗田ゼミの学生は、これらの講義を受講せねばならない（資格取得等の関係上「受講不可能」な学生には、特別の手当をする）。</p> <p>また、上記講義関連作品の他にも、日本近代文学の名作を中心に、ゼミ独自の読書課題を設定する。どれも短大生としてぜひ読むべき作品。</p>	<p>近代文学の名作をたくさん読む。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>はじめの内は、僕(栗田)の解説が中心。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>しだいに、自らの「読み」を語れるようになる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>すると、「ああ、そうだったのか!」と、作品の新たな魅力が見える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>文学・芸術の豊かな世界が、自分のものになる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2年生へ 「文学研究」の力をつける。</p>
<p>【評価方法】 平常点を主に、筆記試験（ノート、書物等、何でも参照可）を加味する。ゼミに<u>真面目に参加し、努力して読み続ければ、大丈夫、「A」は確実!</u></p> <p style="text-align: center;">ダラダラ怠けてしまえば、結果は悲惨!</p>	

【授業科目名】 教養演習 I	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学研究を通してこれからの人生をどのように生きていくべきかを考える。 2. 友人や家族、愛や人間の生きる意味や、社会、自然、環境などさまざまな問題に触れる。 3. 望ましい子ども観とは何かを具体的な作品を読みながら考える。 4. 英米をはじめとした児童文学の歴史を学び、子どものための文学がどう発展してきたかを学ぶ。 5. 最近多くの児童文学が子どもだけでなく大人にも読み直されている意味を認識する。 	
<p>【テキスト】</p> <p>定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>百々佑利子「児童文学を英語で読む」岩波ジュニア新書 タウンゼント「英米児童文学の歴史」岩波書店</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに英文で作品を読みながら「子ども観」について考える。 2. 英米児童文学のあゆみを調べながら代表的な作品について考える。 翻訳による作品も多く読んで、毎回レポートする。 3. 各自の研究対象となる作品を選び、原文で読み始める。 4. 原文の読みはきめ細かく行い、自分の感性と理解力によって問題点を発見していく。 5. 各自が発見した問題点を出し合って討論しながら、様々な角度から問題を深く追求していく。 6. ゼミでは発表や討論が重要なので、各自が毎回、問題意識をもって参加することが要求される。 7. 2年生の卒業レポートへの準備としてカード作成の方法や参考文献の調べ方なども学ぶ。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅰ	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性を取り巻く社会状況を客観的にとらえ、これからの望ましい男女の在り方や生き方を探る。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で資料を配布し、適宜必要な参考文献を紹介する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、女性問題とは何かを理解するために3～4人のグループにわかれて、最近女性に関してどのようなことが問題になっているのかを雑誌「女性情報」によって調査する。 2、調査内容をライフスタイル、家族・家庭、女性と教育、女性と労働、女性と社会保障、男女平等をめぐる諸外国の動きなどにわけ、自分が一番関心を持った問題を取り上げて報告する。 3、女性問題の所在が明らかになった時点で『東京の女性白書』をテキストに学習をすすめる。 4、報告者はテキストのほか参考文献等で詳しく調べて報告し、討論を深められるようにする。 <p style="text-align: center;">学生の皆さんの積極的ディスカッションを期待しています。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅰ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>歴史を学ぶためのウォーミングアップ 日本の近代史をテーマに、前半では、まず大学での歴史の学び方をトレーニングする。文献の読み方、史料の接し方などからはじめ、歴史の具体像に触れながら、それらから何を読み解くかを皆で話し合いながら進めていく。後半は、皆で選んだテキストを一緒に読み、内容を検討しながら、それぞれの持つ近代イメージをさらに豊富化することを目標にする</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>メンバーが確定したところで相談して決める</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるので逐次紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは歴史についてのそれぞれの興味、関心のあり方を出し合う。ついで、幕末・維新の動乱から敗戦までの時期について書かれた文献や史料を読み合い、また、テキストを分担を決め報告してもらう。日本の近代史を題材にしながら、歴史の流れをダイナミックにつかむことを学んで欲しい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回の報告と時々の小レポートによって評価する</p>	

【授業科目】 教養演習 I	【担当者】 小松香織												
【開講期】 1年 前期・後期													
<p>【授業目標】</p> <p>英米文学の代表的作品を取り上げて、作家および作品について研究する。優れた文学作品に接することで、より高尚な知性と教養を身につけていきたい。</p>													
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指示する。</p>													
<p>【参考書】</p> <p>授業で指示する。</p>													
授 業 計 画													
<p>各作品ごとに、担当者を決めて、作家とその作品の背景や内容について、詳しく調べて発表してもらおう。</p> <p>取り上げる予定の作品</p> <table data-bbox="175 1122 958 1406"> <tr> <td>W. Shakespeare</td> <td><i>Romeo and Juliet</i></td> </tr> <tr> <td>Charlotte Brontë</td> <td><i>Jane Eyre</i></td> </tr> <tr> <td>D. H. Lawrence</td> <td><i>Lady Chatterley's Lover</i></td> </tr> <tr> <td>Jane Austen</td> <td><i>Pride and Prejudice</i></td> </tr> <tr> <td>J.D. Salinger</td> <td><i>The Catcher in the Rye</i></td> </tr> <tr> <td>Mark Twain</td> <td><i>Adventures of Huckleberry Finn</i></td> </tr> </table>		W. Shakespeare	<i>Romeo and Juliet</i>	Charlotte Brontë	<i>Jane Eyre</i>	D. H. Lawrence	<i>Lady Chatterley's Lover</i>	Jane Austen	<i>Pride and Prejudice</i>	J.D. Salinger	<i>The Catcher in the Rye</i>	Mark Twain	<i>Adventures of Huckleberry Finn</i>
W. Shakespeare	<i>Romeo and Juliet</i>												
Charlotte Brontë	<i>Jane Eyre</i>												
D. H. Lawrence	<i>Lady Chatterley's Lover</i>												
Jane Austen	<i>Pride and Prejudice</i>												
J.D. Salinger	<i>The Catcher in the Rye</i>												
Mark Twain	<i>Adventures of Huckleberry Finn</i>												
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業参加態度、発表内容、レポート等により総合的に評価する。</p>													

【授業科目名】 英国語学研修	【担当者】 瀧口 優																					
【開講期】 1年 前期（事前指導）・後期（語学研修）																						
【授業目標】 英国リーズ市に約3ヶ月ホームステイし、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加しながら、日常会話を修得し、積極的にネイティブ・スピーカーや様々な国々の人と英語でコミュニケーションできるようにする。また、現地に滞在することにより、イギリス文化の教養を身につける。																						
【テキスト・参考書】 事前指導にて指示する																						
授 業 計 画																						
<p>前期に事前指導、後期に約3ヶ月英国リーズに滞在し、リーズ・メトロポリタン大学の語学研修プログラムに参加する。</p> <p>前期事前指導では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスポート取得、渡航手続きをはじめ、現地に滞在するための準備を進める。 ・現地滞在に必要な基本的な英会話、英語の基本をマスターする。 ・英国滞在を一層有意義なものにするため、イギリスの地理、歴史、文化の基本的な知識を修得する <p>語学研修では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修期間：8月31日～11月29日（予定が変更される場合もあります） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">8/31</td> <td style="width: 50%;">成田出発→ロンドン・ヒースロー着</td> <td style="width: 40%;">ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>9/1</td> <td>ロンドン市内観光</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>9/2</td> <td>ロンドン→リーズへ移動</td> <td>ホームステイ開始</td> </tr> <tr> <td>9/4 → 11/24</td> <td>リーズ・メトロポリタン大学にて語学研修</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11/25</td> <td>リーズ→ロンドンへ移動</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>11/26・27</td> <td>ロンドン市内観光</td> <td>ロンドン泊</td> </tr> <tr> <td>11/28</td> <td>ロンドン・ヒースロー→11/29 成田着</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・語学研修は、メトロポリタン大学語学研修のプログラムに参加し、ネイティブ・スピーカーの授業を受ける。他国の留学生とともに学ぶ機会も予定されている。 ・リーズ近郊のヨークやハワースといった観光地への遠足、スポーツ、パーティ等の活動にも参加 <p>帰国後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスで培ったことを定着させるべく、事後指導（反省会も含む）も行う 		8/31	成田出発→ロンドン・ヒースロー着	ロンドン泊	9/1	ロンドン市内観光	ロンドン泊	9/2	ロンドン→リーズへ移動	ホームステイ開始	9/4 → 11/24	リーズ・メトロポリタン大学にて語学研修		11/25	リーズ→ロンドンへ移動	ロンドン泊	11/26・27	ロンドン市内観光	ロンドン泊	11/28	ロンドン・ヒースロー→11/29 成田着	
8/31	成田出発→ロンドン・ヒースロー着	ロンドン泊																				
9/1	ロンドン市内観光	ロンドン泊																				
9/2	ロンドン→リーズへ移動	ホームステイ開始																				
9/4 → 11/24	リーズ・メトロポリタン大学にて語学研修																					
11/25	リーズ→ロンドンへ移動	ロンドン泊																				
11/26・27	ロンドン市内観光	ロンドン泊																				
11/28	ロンドン・ヒースロー→11/29 成田着																					
【評価方法】 現地の成績に平常点、レポートを加味して評価する。																						

【授業科目名】 英語特別演習	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 英語を総合的に学びながら、真のコミュニケーションとは何かを考える。 2. 映像を通して英米をはじめとした文化の多様性を学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する。	
----- 【参考書】 Video in action (Susan Stempleski & Barry Tomalin: Prenticehall) REACHING FOR THE STARS (Eichosha Longman)	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 映画についての解説を英語で読む。 2. 英米の文化を表現している映画を鑑賞する。 3. 映画の内容をまとめたり分析したりする。 4. 映画を通して英語音声の聞き取りにも慣れる。 5. 画面で登場した人物の表情を見ながら、音声や身体全体による表現を学ぶ。 6. 必要に応じて映画の一部を演じてみる。 7. 年間で5～6本の映画を予定している。 	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 英文の構造	【担当者】 上原重一
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>すでに中学・高校で英語を学習しているが、言語の構造が日本語と違っているので理解が十分でなく、思うように使いこなせないという難がある。英語の構造を、日本語と対比しながら、読んだり書いたり話したりする力を伸ばすことを目標にする。特に、書くことに重点を置き、日本語に対する理解も深めたい。</p>	
<p>【テキスト】 Express Your Views in English (日常生活を英語で表現)</p> <p style="text-align: center;">斎藤 宏; Wayne I. Phillips著 (成美堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">授業の中で、必要に応じて提示します</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 総論：英文の構造の特色（英語の歴史を含めて） 2 英語で手紙を書いてみる 3 英語の広告文を作る 4 海外旅行の折の税関申告書の作成 5 英語で人物を描写する 6 和製英語について 7 外国旅行について語る 8 「おしゃべり」の効用 9 どんな飲み物が好きですか？ 10 Stand on the Right, Please. (生活習慣の相違) 11 Cutting into Line & Queue (割込みと列に並ぶこと) 12 First, Know Your Own Country (日本について英語で語る) 13 By Name (名前の呼び方) 14 "Nanbanme?" or "Which one?" 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業の中で練習問題の成果と宿題の成績。 それらと、期末に提出してもらうレポートによって評価する。</p>	

【授業科目】 英語の音声

【担当者】 ライラ・コーズイ

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

正しい発音とイントネーションを
身につけること。

【テキスト】

プリント

【参考書】

—

授 業 計 画

LL を使って

1. 母音の微妙な相違
- と
2. 日本語のなの子音
- と
3. 会話のメロディのあたり
さわり

よく練習して自然に話せ
るようになる。

【評価方法】

出席と積極的な授業中の参加。

【授業科目】 リーディング	【担当者】 田中安行
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな方法で英文を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史 などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。同時に21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練 ビデオ教材やテープを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような練習を行う。 2. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、音声による表現もできる力をつける。 3. 文章理解 さまざまな形式の英文を使って、文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 4. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、歴史、時事問題などの英語教材を用いて、広い視野で学び、世界の多くの文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な物語、英詩、エッセイ、英字新聞やインターネットからの時事英語などを教材に使う。 2. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 5. 自己表現英作文、英詩作り、文集作りなどによって実践的な英語力を高める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点とレポートおよびテストなどで総合的に評価をする。</p>	

【授業科目】 英語表現

【担当者】 ライラ・コーズイ

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

日常英会話をマスターすること

【テキスト】

プリント

【参考書】

英 和 和 英 辞 典

授 業 計 画

1. I'd like to talk about _____.
(3-minute speech)
2. Conversation Exercise
3. Grammar
4. Vocabulary
5. Discussion

【評価方法】

1回目のレベルチェックテストと15回目のテストの
進歩度合いと積極的な参加

【授業科目】 英会話 I

【担当者】 ライラ・コルスイ

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

英語の日常会話をマスターすること

【テキスト】

プリント

【参考書】

英和辞典 2冊 持参すること
和英 毎回

授 業 計 画

1. I'd like to talk about _____
(3-minute talk)
2. Conversation Exercises
3. Grammar Exercises
4. Vocabulary
5. Discussion

【評価方法】

1回目のレベルチェックテストと15回目のテストの
進捗度合いと授業中の積極的な参加

【授業科目】 英語圏の文化	【担当者】 木野 淳子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語圏の文化について、対象をカナダとし、それが形成された歴史的背景を検討する事によって考察し、必要な基礎知識を身に付ける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業の中で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現在、英語は世界における共通言語といっても良く、その重要性は周知の通りである。しかし、言語を学ぶだけでは、英後圏諸国を理解することは困難である。そこで、この授業では、英語圏が形成された背景とその文化を考察することによって、英語を母国語ないし公用語とする諸国及び人々に関する理解を深めることをねらいとする。</p> <p>英語圏と一言で言っても、イギリス、アメリカ合衆国はじめ、オーストラリア、ニュージーランドなどかなり広範囲にわたる。そのため、この授業では、英米と深いつながりがあるカナダを中心に取り上げ、その文化が形成される歴史的背景及びその特色について、考察を加える予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 一. 授業最終時の筆記試験 二. 授業時の感想文やレポートなどの提出物 三. 授業時の個人ないしグループ（受講人数による）による発表 <p>※二. 及び三. については、受講者数等を考えた上で組み合わせて行う。</p>	

【授業科目】 文学の読み方

【担当者】 三石庸子

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 文学作品を読む場合に、どのような点に注意したらよいか、どのような角度から考察できるか、一般的にどのような解釈法があるかといった問題も、具体的に作品を讀むことから考えていく。

【テキスト】 なし

【参考書】 授業中に指示可也。

授 業 計 画

- 4月 西欧の文化背景として、ギリヤ神話・聖書の解説。
- 5月 アフリカ、アジア、アメリカの歴史と文化について概説。
- 6月 ダニエル・デフォー『ロビンソン・クルソーの冒険』を読む。
- 7月 トニ・モリスン『ピラウグッド』を読む。

【評価方法】 出席状況と学期末テスト

【授業科目】 日本文学史	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の文学は、その発生期から約千年くらい前に完成した源氏物語まで、短期間のうちに激しく変動を重ねながら、世界的に見ても高度な達成を得るに至りました。古代の人々の自然や人間に対するしなやかな感性、想像力の豊かさを知り、時代と共に個別化される人間の心理が、どう作品化されたか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリント</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p><神語りから物語りへ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 古代歌謡（万葉集・古事記・風土記から） <ul style="list-style-type: none"> ・歌謡とは何か ・集団の祭祀と性 2, 音声表現から文字（万葉仮名）表記へ 3, 日本の神話・・・『古事記』上巻をとりあげる。 <ul style="list-style-type: none"> ・高天原系／出雲系神話の構想と、神話成立の背景 ・万物の生成・死と生の世界・言葉の力はどう語られるか ・異界の血と、王の誕生 4, 中国文化摂取の時代（九世紀） <ul style="list-style-type: none"> ・六朝、初唐詩の表現と古今集 ・中国『伝』の影響 5, 罪びとかぐや姫の誕生（平仮名の物語） <ul style="list-style-type: none"> ・口承説話の型からの脱皮 ・中国神仙伝（『漢武帝内伝』『妙女伝』など）と竹取物語 6, 書き手としての女性・・・古物語の否定 <ul style="list-style-type: none"> ・『蜻蛉日記』－心理を描く 7, 『源氏物語』の達成・・・生きることの意味を求めて <ul style="list-style-type: none"> ・神話、古今集、竹取、蜻蛉、ほかの集大成 ・結婚を拒否する女たち、出家する女たち 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験により評価。</p>	

【授業科目】 小説の世界

【担当者】 栗田廣美

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

明治～昭和の人たちは、ナニも「強いられて」小説を読んだワケではあるまい。
「オモシロイ!」から読んだのだ。……現代人が、テレビドラマを見るように。
その「面白さ」を発見することが、「小説研究」の本来の目的だ!

【テキスト】 教科書は使用しない。

【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。

授 業 計 画

文学は「知識」よりも「作品の味わい」が大切だ。

レストランで「メニュー」を覚えるよりも、実際に食べてみるのが良いし、

(食欲が無いなら) 食べた人の話を聞いた方が、遙かに楽しい。

この講義では、実際の小説を、まず紹介＝解説しながら、

その「面白さ」を再発見し、その「魅力」を探ります。

……それが実は、学問としての「文学研究」の、本来的目的だからです

「紹介＝解説したい」小説の例

日本最大のメロドラマ……尾崎紅葉『金色夜叉』
幻想世界の恋・異次元ロマンス……幸田露伴『土偶木偶』
死の美学か、偽装心中か……泉鏡花『外科室』『義血侠血』
「丑松」とは誰か……島崎藤村『破戒』
自分を見つめる乾いた視線……夏目漱石『吾輩は猫である』
なぜ、あんなに喋りまくるのか……同『坊っちゃん』
「三角関係小説」の最高傑作……同『それから』

【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。

講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。

出席点を加味して、総合的に評価する。

【授業科目】 日本語表現法

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1年 前期

【授業目標】人間はことばでものを考え、ことばで社会をつくり、文化をつくれます。ですから、ことばによる表現は、人間にとって、基本的な大切な活動だといえます。この授業では、ことばによる表現の大切さと、殊に書きことばによる表現の基本を学ぶことを目標にします。

【テキスト】講義資料(プリント)を配布する。

【参考書】岩淵悦太郎『悪文』(日本評論社)

授 業 計 画

授業は講義と実作(制作)を併用して進める。
講義の内容と実作のジャンルは、下記を予定している。

I. 講義

1. ことばと思考
2. ことばの機能
3. 文章の構造
4. 文章表現の基本
5. 文章のスタイル

II. 制作

1. エッセー
 2. 評論
 3. 短詩(伝統詩のパロディーなど)
 4. コント(掌篇小説)
- 「文集」の作製を予定している。

【評価方法】授業への参加と作品の提出を重視する。
評価は、参加の度合と提出作品によるが、小テストを実施する場合もある。

【授業科目】 日本語表現法	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>「表現（主に、書いたり話したりすること）」への、自覚を高める。 自分の考えを、わかりやすく的確に書くことができるようになる。 文章表現上の、常識的な知識を得る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリント</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業の最初に指示。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、「表現」とは？</p> <p style="padding-left: 40px;">「表現」の主体 場と時と、「表現」 さまざまな「表現」の形態</p> <p>2、「快い表現」を求めて</p> <p style="padding-left: 40px;">「快い表現」とは？</p> <p style="padding-left: 80px;">*さまざまな事例を探してみよう</p> <p style="padding-left: 120px;">「快い表現」の内容はどうなっているか 「快い表現」の方法はどうなっているか</p> <p>3、「快い表現」の実験</p> <p style="padding-left: 40px;">*朗読してみよう。聴いてみよう。</p> <p>4、日本語の文章表現</p> <p style="padding-left: 40px;">(1)「良い文章」・「悪い文章」とは 身近な事例を探してみよう</p> <p style="padding-left: 40px;">(2)「わかりやすい文章表現」のために</p> <p style="padding-left: 40px;">(3)「的確な文章表現」のために とにかく書いてみよう</p> <p>5、日本語表現の常識</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。提出物などによる平常点評価。</p>	

【授業科目】 比較文学	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 本当の「国際人」とは、どんな人か？</p> <p>アメリカ・ヨーロッパ・中国・インド……から、日本文化（文学・芸術）が見える！</p> <p>アメリカ・ヨーロッパで青春を過ごした有島武郎、</p> <p>中国・インドを愛し、アメリカで活躍した岡倉天心、</p> <p>この二人を中心に、（文学だけにこだわらず）世界的な広がりの中での「日本」の理解をめざします。</p>	
【テキスト】 教科書は用いない。必要に応じ、プリントを用意する。	
<p>【参考書】 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカー〈どこでもない所〉への旅』（右文書院・刊）。</p> <p>購入することが望ましいが、本学図書館（参考図書コーナー）にもあります。</p>	
授 業 計 画	
<p>1 「最近150年」をどう見るか。</p> <p>① 日本の歴史の中でも、8世紀前後と同じくらい「奇妙な時代」。</p> <p>② 「巨大な世界」と向きあうこと。</p> <p>③ 「英語帝国主義」と日本人。</p> <p>2 「使命感」と「コンプレックス」——欧米の中の明治人。</p> <p>① 内村鑑三と新渡戸稲造。</p> <p>② 岡倉天心という巨人。</p> <p>③ 森鷗外・夏目漱石・永井荷風。</p> <p>3 有島武郎とアメリカ・ヨーロッパ。</p> <p>① ペンシルヴァニア——重圧とコンプレックス。</p> <p>② ニューイングランド——重圧と闘う思想。</p> <p>③ ヨーロッパ——中世への憧れ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「比較文学」という学問は、民族・言語の違いを越えた「作品間の影響関係」を探る学問として生まれました。しかし最近では、狭い「影響関係の研究」にはとどまらず、より広い文化交流全体の中でとらえ直す方向に、急速に発展しつつあります。——本講では、この最新の研究動向にのっとり、しかも、あくまでも「欧米近代文明が（かなり暴力的に）世界を支配している」という現実的力関係から目をそらさぬ「闘う比較文学」を目指します。そのことで、文化の真の国際交流の可能性を探りたいからです。</p> </div>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 歴史の見方	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>過去に起こった事実を、時間的経過に即しながら確認していくことから歴史は始まるが、果たしてそれだけで良いのだろうか。歴史から学ぶということはどういうことなのかを考えてみたい。また、私たちが日常何気なくやっている歴史的にもものを見るということも、突き詰めて考えるとどういった意味をもっているのだろうか。その辺を手がかりに講義を進めて行きたいと思う。</p> <p>また、叙事詩や物語として始まった歴史叙述の変遷をたどり、歴史学の歴史もふまえながら、歴史における発展とは何か、歴史に法則性はあるのかといった点についても考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>弓削達『歴史学入門』東大出版会など。多数あるので講義中にその都度紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>歴史に関する知識は特に必要としない。</p> <p>歴史叙述の方法、歴史と個人の問題、あるいは歴史研究法としての史料の取り扱い方など、毎回個別のテーマを扱いながら進めていこうと考えている。</p> <p>大きな柱立てとして次のようなテーマを考えている(但し、順不同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇歴史叙述の変遷 ◇歴史小説の読み方 ◇「総体の歴史」=「存在としての歴史」と「認識されたものとしての歴史」 ◇「自分史」としての歴史=歴史の中の個人 ◇歴史事実と歴史観 ◇史料から歴史へ ◇切り取った時代の構造分析 ◇歴史の発展段階と発展法則 ◇歴史的なものの見方とは何か ◇歴史を学ぶこと 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 古代の歴史（考古学を含む）	【担当者】 田中禎昭
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>7、8世紀における日本古代国家の成立と地域社会の変容の過程を、東アジアの国際関係を踏まえて考察する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業時にプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>山尾幸久『日本国家の形成』（岩波新書）、吉村武彦『古代天皇の誕生』（角川書店）など。</p>	
授 業 計 画	
<p>今年度は、7～8世紀、律令国家成立期の日本古代史に関する講義を行なう。7世紀初頭、中国に隋・唐という世界帝国が成立し、その余波を受けて東アジア全体が戦乱の渦に巻き込まれていく。日本は、推古大王（天皇）・厩戸王子（聖徳太子）の執政下、緊迫する東アジアの国際関係への対応を強いられ、強力な王権の下で中央集権的な国家形成に向かうことになる。また7世紀中葉には、唐帝国の侵攻の下で百済・高句麗など朝鮮半島諸国が滅亡、日本も外国軍隊の侵攻により王朝（倭王権）が存亡の危機にさらされるという、歴史上、かつてない事態に立ち至る。日本の律令国家は、このような東アジアの世界戦争という、古代の「危機の時代」の中で産声をあげたのである。</p> <p>講義では、日本の古代国家形成のダイナミズムを、このような東アジアの政治状況の中に位置付け、世界史的に把握することを試みる。なお、この時代には、地域社会の中にも、多くの中国・朝鮮半島からの渡来人が入植し、在来の人々と盛んに交流して、国際色豊かな文化が形成された。したがって、国際政治レベルに問題をとどめず、「村」等の地域社会における文化・生活レベルで東アジアの国際関係がどのような影響を及ぼしているのか、近年の古墳・集落・住居址などの考古学的知見を踏まえつつ、確認していきたいと考える。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験と平常点（レポートを含む）により評価する。</p>	

【授業科目】 史料で読む歴史

【担当者】 西脇康

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

- ・ 文献史料を中心としつつも、道具・絵画・建築・伝承など広い資料を対象として、江戸期の時代像を科学的に復元する手法を学び、みずからも体験する。
- ・ 貨幣をキーワードとして、江戸期の生活と文化のありさまにつき、さまざまな角度から接近する。

【テキスト】

瀧澤武雄・西脇康編著『日本史小百科 貨幣』（1999年東京堂出版発行、B6判、364頁、¥2500円）を必携とし、講読するすべての史料は適宜無償で配布する。

【参考書】

授業中に、必要に応じて指摘する。

授 業 計 画

講座名称 「貨幣から見た江戸期の生活と文化」

貨幣の現物を実際に見て、手にとって、その感触をもとに、江戸期にタイムスリップするような授業にしたい。スライドやビデオによって、ビジュアルな素材を提供する。要望があれば、有志で巡見・見学会を企画する。

授業形態 講義と演習の折衷型……参加者の希望に応じて対応する

内 容 はじめに……日本の産金と黄金の魅惑、昔話に見る黄金観

—ここ掘れワンワン、大判・小判がザックザク—

- 1 大判・小判、丁銀・小玉銀、穴銭の誕生……発生と形・色・装飾の謎
- 2 貨幣単位と通用慣行……三貨制度、九六銭、数字の魔力、極印・墨判
- 3 貨幣の技術……絵巻から見た製造工程、金色を出す技術、千両箱
- 4 貨幣の贈答儀礼……なぜ包むのか、歌舞伎『冥土の飛脚』の封印切り、将軍家・禁裏への献上から一般的祝儀まで
- 5 町人文化と習俗……銭洗い弁天、銭まき、大吉・七福小判、ムカデ小判
- 6 貨幣の尺度と時代的価値……給金、手間賃、寸志、結納金から手切れ金
- 7 復元—小判の価値……所得水準で比較した生活感覚
- 8 文学・川柳から見た貨幣観……花柳界、拝金主義、人生訓
- 9 貨幣学をはじめた人々……恐るべきコレクター、錬金術と鑑定学
おわりに……貨幣から見た時代像

追 記 TV「ときめき歴史館」「お江戸でござる」「なんでも鑑定団」などのファンであれば、この講座であなたの知的興味は十分満足するであろう。いや、いわゆるオタク講座にするつもりはない。好奇心が旺盛で、自由な発想ができるビギナーや、高校で日本史を敬遠していた人がきっと好きになるような、そんな授業を理想として、みんなで考えていきたい。

【評価方法】

平常点（出席）として三割を加算する。試験か学年末レポートかを各自が選択できる。

【授業科目】 史料で読む歴史	【担当者】 八田 恵子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日清戦後から大正デモクラシー期（1890 年代～ 1920 年代）における社会の変化を産業、労働、生活状況、社会運動等の史料から読み取る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>史料はコピーして配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>適宜、紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 日清戦争前後の政治、経済の動向を概説した後 産業革命前後の下層社会の生活 社会運動の勃興 等の史料を講読</p> <p>2. 日露戦後の政治、経済の動向を概説した後 農村の疲弊 地方改良運動 社会運動の動向 等の史料を講読</p> <p>3. 大正デモクラシー期の政治、経済的動向を概説した後 米騒動 労働者、農民、女性、差別撤廃等の運動 都市化と大衆文化 等の史料を講読</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験もしくはレポート提出に平常点を考慮して評価する。</p>	

【授業科目】 日本文化論	【担当者】 高橋秀雄
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文化とは Culture の訳語であり、その原義は“耕す”という意味である。古代から、人間は自然を耕すことによってさまざまな文化を創りあげ、それを伝承してきている。その軌跡を探りながら文化の特徴を探究する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>各種文化関係書（その都度指示する）</p>	
授 業 計 画	
<p>文化とは何かを命題にし、文化の基本から説き明かして芸術分野に高められてゆく過程に焦点をあて、その内容を把握するとともに、とくに東西文化の特徴を比較することによって、文化に対する認識を深める。</p> <p>各テーマについては、1回または数回の講義となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化とは何か 2. 人類の発祥と文化の発生 3. 日本の古代の文化 4. 火と水の文化 5. 石と木の文化 6. 狩猟と農耕と海洋の文化 7. “じとば”の文化 8. 東洋文化と西洋文化 9. 日本文化論 	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 期末レポート 2. 授業時のレポート 3. 授業時の平常点</p> <p>} 左記3項による総合評価</p>	

【授業科目】 生涯学習概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>教育の荒廃がいわれる現代では、改めて「教育」と「学習」との関係が問われている。この講義では、生涯学習とは何か、という問題を、教育思想の歴史的展開をおいながら、生活スタイルの歴史的変化などとあわせて検討し、生涯学習に関する基本的考え方を学ぶことにする。また生涯学習の具体的課題として、現在すすめられている教育政策をとりあげ、日本の現代社会における生涯学習の現状を明らかにし、参加者ととも生涯学習のあり方について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>教育科学研究会・社会教育推進全国協議会編『教育、地方分権でどうなる』国土社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1, 生涯学習とは何か。</p> <p>a) 「学習」概念の成立とその歴史的展開</p> <p>b) 生活スタイルの変化と人間形成</p> <p>2, 生涯学習の具体的な課題</p> <p>a) 日本における生涯学習政策の展開</p> <p>b) 生涯学習の機会と制度</p> <p>c) 男女共同参画社会と生涯学習</p> <p>3, 「教養」の形成と生涯学習</p> <p>講義計画は、大きなテーマを中心としており、小項目については変更もありうる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価は、学期末のレポートを基本にするが、出席、講義内での簡単なレポートを参考に する。</p>	

情報・資格科目 情報科目（1年）

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期(後半)	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と情報検索の基礎を学びます。コンピュータを使っての情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「これからの情報リテラシー—課題で学ぶ基礎的情報処理—」 樹村房 (情報機器論と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本 ・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 2. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
【評価方法】 ネットワーク上での実技試験を行います。	

【授業科目】 情報検索演習	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1年 前期 (後半)	
<p>【授業目標】</p> <p>ネットワークの出現により、新しいライフスタイルやビジネススタイルが出現し、情報の検索も進み、コンピュータ資源の共有や専有によるウェブイヤーの成果が期待されるようになってきた、そこで情報化社会の素養としてのネットワークの活用の基礎を学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディアによる新しいライフスタイル 2. Netscape Navigator の基本操作 3. インターネットについて (その入り方、使い方、世界旅行へ、手紙) 4. 情報検索サービスへのアクセス (1) 5. 情報検索サービスへのアクセス (2) 6. ネットとインターネットの明日 7. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期(前半)	
【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メールの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「これからの情報リテラシー―課題で学ぶ基礎的情報処理―」 樹村房 (情報検索演習と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの仕組み ・電子メールによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 3. コミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロセッサの編集機能の活用 ・情報の保存と活用 ・思考ツールとしてのワードプロセッサの活用 ・プレゼンテーションツールの活用 	
【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出してもらいます。	

【授業科目】 情報機器論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1年 前期 (前半)	
<p>【授業目標】</p> <p>コンピュータに関係した技術は進歩が早く、それとともに次々と新しい製品が出現する。それはハードにしてもソフトにしても同じことである。そこで本講義は、新しいライフスタイルやビジネススタイル視点から、特に私たちの生活との関わりからみたコンピュータのハードとその活用についてわかりやすく解説をするつもりである。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 通信 (新しい通信インフラ) 2. 家庭生活 (電子新聞、ホームショッピングなど) 3. ワークスタイル (在宅勤務、電子取引・決済など) 4. 行政 (電子申告・申請、免許書の更新) 5. 医療 (通院の減少、遠隔医療) 6. 広告と流通 7. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

情報・資格科目 博物館科目（1年）

随着市场经济的深入发展，企业之间的竞争日益激烈，企业为了在竞争中生存和发展，必须不断提高自身的竞争力。而提高竞争力的关键在于提高企业的管理水平。管理水平的高低直接关系到企业的经济效益和可持续发展能力。因此，加强企业管理，提高管理水平，已成为企业发展的当务之急。

在企业管理中，人力资源管理起着至关重要的作用。人是企业的核心资源，是企业发展的动力源泉。只有拥有一流的人才队伍，企业才能在激烈的市场竞争中立于不败之地。因此，企业必须重视人力资源管理，建立健全人力资源管理体系，吸引、培养和留住人才。

首先，企业应明确人力资源管理的战略地位，将其纳入企业整体发展战略之中。其次，企业应建立健全人力资源管理制度，包括招聘、培训、考核、薪酬等方面。再次，企业应加大人力资源投入，提高员工的素质和技能。最后，企业应营造良好的企业文化，增强员工的归属感和凝聚力。

人力资源管理在企业竞争力提升中的作用

随着市场经济的深入发展，企业之间的竞争日益激烈，企业为了在竞争中生存和发展，必须不断提高自身的竞争力。而提高竞争力的关键在于提高企业的管理水平。管理水平的高低直接关系到企业的经济效益和可持续发展能力。因此，加强企业管理，提高管理水平，已成为企业发展的当务之急。

在企业管理中，人力资源管理起着至关重要的作用。人是企业的核心资源，是企业发展的动力源泉。只有拥有一流的人才队伍，企业才能在激烈的市场竞争中立于不败之地。因此，企业必须重视人力资源管理，建立健全人力资源管理体系，吸引、培养和留住人才。

首先，企业应明确人力资源管理的战略地位，将其纳入企业整体发展战略之中。其次，企业应建立健全人力资源管理制度，包括招聘、培训、考核、薪酬等方面。再次，企业应加大人力资源投入，提高员工的素质和技能。最后，企业应营造良好的企业文化，增强员工的归属感和凝聚力。

随着市场经济的深入发展，企业之间的竞争日益激烈，企业为了在竞争中生存和发展，必须不断提高自身的竞争力。而提高竞争力的关键在于提高企业的管理水平。管理水平的高低直接关系到企业的经济效益和可持续发展能力。因此，加强企业管理，提高管理水平，已成为企业发展的当务之急。

在企业管理中，人力资源管理起着至关重要的作用。人是企业的核心资源，是企业发展的动力源泉。只有拥有一流的人才队伍，企业才能在激烈的市场竞争中立于不败之地。因此，企业必须重视人力资源管理，建立健全人力资源管理体系，吸引、培养和留住人才。

首先，企业应明确人力资源管理的战略地位，将其纳入企业整体发展战略之中。其次，企业应建立健全人力资源管理制度，包括招聘、培训、考核、薪酬等方面。再次，企业应加大人力资源投入，提高员工的素质和技能。最后，企业应营造良好的企业文化，增强员工的归属感和凝聚力。

【授業科目】 博物館学	【担当者】 柘植信行
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>博物館は、私たちの生活や地域の文化にどのような関わりをもっているのでしょうか。ますます多様化するとともに、新たな役割を期待される博物館の現状を学ぶことから出発して、博物館の歴史や理念、その仕事や学芸員の役割などについて考えていきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>博物館学シリーズ 1『博物館概論』（樹村房）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義に必要な資料は、適時配付します。</p>	
授 業 計 画	
<p>(博物館概論) オリエンテーション-博物館とはなにか- 博物館の種類と分類 博物館の歴史と現在-博物館・美術館・水族館・エコミュージアム……- 地域博物館の展開 生涯学習と博物館の課題 博物館の法律 博物館をつくる-構想から開館まで-</p> <p>(博物館経営論) 博物館の行財政制度 博物館の施設と設備 博物館事業-教育・普及活動- 博物館と学芸員-学芸員資格とその仕事- 博物館とボランティア</p> <p>(博物館資料論) 博物館資料の収集と保存 展示とはなにか-常設展と特別展- レプリカの活用-意義と作成方法- 博物館の調査・研究活動 文化財保護、遺跡整備・保存と博物館</p> <p>(博物館情報論) 博物館での情報の意義 博物館での情報の提供 博物館での情報の活用 情報機器の活用と方法 (以上、主なテーマを列記しましたが、講義では前後する場合があります。)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① レポート ② 博物館見学発表・感想文</p>	

【授業科目】 博物館実習	【担当者】 上野光子・平賀明彦
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて資料を配付します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>広範に渡る学芸員の仕事の中から人文科学系にしぼり、下記の項目にそって、講義1実習3を目安に授業を進めてゆく。見学によりなるべく多くの実例を学び、同時に作品に対するより深い理解とマナーも身につけます。2年次には実際に博物館施設において実務実習を行います。</p> <p>(1) オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法</p> <p>(2) 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動</p> <p>(3) 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(4) 資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次資料とは ・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本 ・ 裏打：くいざき、作図方法 ・ レプリカ作成 <p>(5) 展示と保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示環境 ・ 劣化と保存科学 ・ 展示施設と方法 ・ カタログ、作品解説 <p>(6) 梱包と運搬</p> <p>(7) 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法</p> <p style="padding-left: 40px;">掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等</p> <p>(8) 写真の基礎知識</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>(1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。</p>	

【授業科目】 教育学概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】現代の日本の学校教育では、受験競争、いじめ、などさまざまな問題が生じている。それらは改めて「教育とは何か?」「学校とは?」「教師のあり方は?」という根本的な問いを投げかけている。多くの国民が学校体験を有する現在、これらの問いに対する答えもさまざまな立場から論じられている。だがそれらは、必ずしも教育的なものの見方、考え方にもとづいたものではなく、ときには教育的であることそのものへの懐疑を表明している場合もある。</p> <p>こうした状況をふまえ、この講義では、現代的な問題を取りあげながら、教育的なものの見方、考え方の基礎を学ぶことにする。</p>	
<p>【テキスト】 特に使用しない。</p>	
<p>【参考書】 教育科学研究会編『いじめ自殺－6つの事件と子ども・学校のいま－』国土社 E・フロム『人生と愛』紀ノ国屋書店、J・J・ルソー『エミール』岩波文庫</p>	
授 業 計 画	
<p>具体的な教育問題として「いじめ」の問題を取りあげ、また、教育的な考え方の一例として、J・J・ルソーの生涯と教育論『エミール』の紹介をおこない、近代教育思想の原点をたずねたい。</p> <p>講義の太要は、以下の内容などを予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の教育と「いじめ」 2. 社会制度と人間の心理 3. 近代教育思想の原点をたずねて <p>講義形式の授業であるが、できるだけ学生のみなさんの問題関心に配慮して授業を進め、現代教育の諸問題とむきあうための手がかりを提供できるよう努力したい。講義内容に関する積極的な質問、意見、感想を期待している。</p> <p>上記に示したような資料の他、使用した資料などについては、随時時間内に指示する。</p>	
<p>【評価方法】 出席とレポートをもとにした総合的評価をおこなう。</p>	

情報・資格科目 司書科目（1年）

[授業科目] 図書館概論	[担当者] 神立春樹
[開講期] 1年前期	
<p>[授業目標]</p> <p>図書館についての基本的ことがらを学び、基礎的知識をみにつける。 これを通じて、図書館の在り方、その将来について考える。</p>	
<p>[テキスト]</p> <p>使用しない。 ただし、授業期間中に図書を指定し、レポートを作成させる。図書は新書版程度のものとし、授業進行中に選定する。</p>	
<p>[参考書] 河井弘志編『図書館概論』（新編図書館教育史料集成 1） 教育史料出版会 1998年</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 図書館の意義</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 図書館の定義 (2) 図書館の意義 (3) 図書館と社会</p> <p>2 図書館の機能</p> <p>3 図書館の構成要素</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 図書館資料 (2) 図書館職員 (3) 図書館施設 (4) 図書館利用者</p> <p>4 図書館の種類</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 国立図書館 (2) 公共図書館 (3) 大学図書館 (4) 学校図書館 (5) 専門図書館 (6) その他図書館 (7) 図書館類縁機関</p> <p>5 図書館の展望</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>授業参加度による平常点・レポート・テストの総合判定</p>	

【授業科目】 図書館経営論	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1年 後期 (後半)	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】</p> <p>『図書館・情報センターの経営』 (勁草書房 情報学シリーズ4)</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。</p> <p>(1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の基本理念 2. 新しい生涯学習の提起 <p>(2) 図書館をとりまく社会の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後の図書館 2. 図書館の新しい時代—60年代後半から70年代 3. 図書館の発展途上に現れた80年代以降の重大な変化 —子ども・若者の図書館離れと要求の変化 <p>(3) 情報化時代の図書館</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子供の遊びと図書館 2. ヤングアダルトへの対応 3. 主婦層への対応 4. 映像・音響文化の提供 5. 施設・設備のありかた <p>(4) アメリカの図書館運営の特徴と日本の図書館運営の問題点</p> <p>(5) 白梅学園短大図書館の歩みから—運営とサービス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目】 図書館資料論	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>利用者に資料・情報を提供するの図書館の重要なサービスの一つである。そのサービスを支えている図書館資料全般について学ぶ。そして関連する出版流通、法規などにも言及する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>図書館資料論（新・図書館学シリーズ7）平野英俊他著 樹村房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 新図書館資料論（現代図書館学講座2）河井弘志編著 東京書籍</p> <p>図書館資料論（JLA図書館学テキストシリーズ7）馬場俊明編著 JLA</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館資料とはなにか</p> <p>図書館資料の種類と特徴</p> <p>印刷資料 : 図書、逐次刊行物、その他</p> <p>非印刷資料: マイクロ資料、映像資料、その他</p> <p>コレクション構築</p> <p>資料選択</p> <p>資料収集</p> <p>コレクション評価・再編</p> <p>図書館資料の収集等をめぐる問題</p> <p>出版流通</p> <p>関連法規</p> <p>図書館協力</p> <p>収集・提供と図書館の自由</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート提出、平常点</p>	

【授業科目】 資料組織概説	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館が収集・蓄積した資料を、利用者が自在に利用出来るような方策を学ぶ。即ち、目録法、主題目録法、分類法などである。情報化時代を迎えた現在、図書館にもコンピュータが導入されて、組織法も影響を受けている状況にも言及する。</p>	
<p>【テキスト】 資料組織概説（新・図書館学シリーズ9）大城善盛ほか著 樹村房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 日本目録規則 1987年版 改訂版、日本十進分類法 第9版、基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版（図書館、教養科資料室所蔵）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>図書館の所蔵する豊富な図書館資料――一例を本にとれば、どのように書架に本を並べれば利用しやすいか。また著者や書名が分かっている本が図書館に所蔵しているか、〇〇についての本にはどんなものがあるか、を調べるには目録による。――を利用者に提供するための方策を学ぶ。具体的には以下の事項である。</p> <p>資料組織の意義・機能</p> <p>目録法：日本目録規則 1987年版を中心に</p> <p>主題コントロール</p> <p>分類法：日本十進分類法を中心に</p> <p>件名目録法：基本件名標目表 第3版、国立国会図書館件名標目表 第5版 を中心に</p> <p>その他：シソーラスなど</p> <p>書誌データベース</p> <p>書誌ユーティリティー、標準化など</p> <p>（細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・テスト・レポート提出</p>	

【授業科目】 資料組織演習	【担当者】 椎葉倣子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>資料組織概論と関連づけて各論が理解できるように演習する。具体的には、図書の組織化――目録、分類、主題分析――を行う。また、外部の書誌データを使う際の問題も考える。そして図書館内での目録利用について利用者にサービス出来るようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>資料組織演習（新・図書館学シリーズ10） 岡田靖他著 樹村房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>目録：記入作成、カード・データ形式により基本的書誌データを学ぶ。 日本目録規則1987年版 改定版による。</p> <p>分類：日本十進分類法第9版による。</p> <p>件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目をあたえる。 以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する。</p> <p>コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。</p> <p>目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。</p> <p> </p> <p>(細かいことを学ぶので、最初の授業時間からきちんと出席すること)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>課題提出及び出席平常点</p>	

【授業科目】 児童サービス論

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1年 前期 (集中)

【授業目標】 人生の人格形成期において、児童はその基盤をなす最重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍をどのように読ませたいかは、よいかという問題を精神文化の側面から考察する。時間僅少(1単位)のため、館内のサービス・テクニックについては、ふれない。

【テキスト】 講義資料を配布する。

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

〔講義概要〕

1. 人間の言語活動
2. 「読む」ことの意義
3. 少年少女期の特性と読書傾向
4. 児童図書としての良書とは何か。
5. 読書指導と選書の方法
6. 児童図書の実状(実態調査をふくむ)

【評価方法】 筆記試験(ノート・講義資料参照可)

【授業科目】 図書及び図書館史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1年 後期 (前半)	
<p>【授業目標】</p> <p>図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣） 石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）</p>	
授 業 計 画	
<p>図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人々が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。</p> <p>第1章 日本一近代以前の図書と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 紙の移入と書写の始まり (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生 (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立 (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり <p>第2章 日本一近代以後の情報化の発達と図書館の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代図書館の発生一公立図書館の二つの道 (2) 日本資本主義の発達と図書館一公立図書館の定着 (3) 大正デモクラシーと図書館一臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館 (4) 軍国主義体制下の図書館一思想言論の抑圧・戦争の被害 (5) 敗戦後の図書館一図書館の自由に関する宣言の採択 (6) 民衆のための図書館へ一日野図書館のスタート・自治体行政の前進 (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">筆記試験またはレポート</p>	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 新井紀代
【開講期】 2年 前期・後期	
【授業目標】	
<p>【テキスト】</p> <p>リスニング教材として <u>Puzzle It Out</u> (マクミラン) を使用。</p> <p>リーディングのテキストは開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>開講時に指示する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・授業態度・小テスト・期末テストなどを総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聞き取りとそれを生かした読み解きを中心に、総合的な英語能力の向上をめざす。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>日本語の発音とは決定的に異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して、映画のシークエンスにおける会話の成立について学ぶ。</p> <p>平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今までに培ってきた英語の基本的技能を、コミュニケーションな面を中心にバランスよく向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 Inside Stories U. S. A. (ビデオで学ぶアメリカ文化) (SEIBIDO)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>年間を通して、ビデオ教材を使って楽しくスムーズに、リスニングと内容理解の勉強を進めていきたい。テキストはビデオを見ての内容理解のための問題、書き取り、会話練習などで構成されている。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのニュースを扱っていて、出来れば1回の授業で一つのユニットというペースで進めていきたいので、学生は十分な予習の上、毎回の授業に出席してほしいと思う。</p> <p>*授業の進め方</p> <p>ビデオを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題をやっていく。問題を皆で解決した後は、必ずどれかを提出してもらおう。学生は“自分が主役”という気持ちでいつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらった練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度（発言、質問への応答）と共に、最後の成績の主なポイントとしたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 藤田幸世
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これまで学習してきた『英語』を基礎知識とし、自分を表現するための『ことば』を学習することを目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業毎にプリントを渡す他、必要に応じて紹介。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要なときに紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>Q：19歳の女子学生が日本の国外で英語を話す時、どのような英語がふさわしいでしょう。</p> <p>まず、英語はよく国際語と位置付けられますが、その英語についてあなたはどのように認識しているでしょうか。この授業では母語の日本語、外国語の英語と、ことばに関する認識を把握した上で、では自分が日本の国外に出たときに英語で自分の国、ことばをどのように説明できるかを考えてみたいと思います。</p> <p>今年度の目標を2つ挙げます。</p> <p>1) 今まで積み上げてきた英語の知識にさらに磨きをかける。</p> <p>具体的には、『世界がみつめる日本』『UK. Kids』などのビデオ教材を用いて、英語を聞き、理解すること、またビデオ教材にリンクした内容の読解、作文をします。</p> <p>2) 英語で自分の気持ちをどう語るか</p> <p>日頃使わない外国語学習には1) がとても重要です。こうして英語という道具を磨きながら、同時にこれを補完する形で英語で自分の気持ちをどのように語ることができるかをテーマにしたいと思っています。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と平常点、前期はスピーチ、後期はレポートで評価を出します。</p>	

【授業科目】 選択語学II-1、2 英語	【担当者】 及川 学
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>短文の英訳と和訳を通して留学、旅行に役立つ表現を身につけていく。読解力は随時プリントで補う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>海外留学・旅行表現英作文（南雲堂）</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>第1週:授業の進め方の説明 第2~3週:1課、2課 第4~5週:3課、4課 第6~7週:5課、6課 第8~9週:7課、8課 第10~11週:9課、10課 第12~13週:11課、12課 第14~15週:13課、14課 第16~17週:15課、16課 第18~19週:17課、18課 第20~21週:19課、20課 第22~23週:21課、22課 第24~25週:実戦テスト</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期、後期の試験、数回のレポート、単語ノートの提出をしてもらい総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱー1、2 英語	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>4年制大学の編入試験に対応できる能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>4年制大学への編入試験は、専攻する科目の試験、小論文、面接などに加えて英語の試験が課せられる場合がある。他はうまくいったけれど英語が障壁になった、という事態を招かないよう準備をしなければならない。</p> <p>試験は、大学によって入学試験とまったく変わらない出題の仕方をするところもあるが、おもに総合的な読解問題である。長い文章を読みとけるよう基本的な文法をおさらいし、一定量の文章を、訳さず全体の内容を理解できるように訓練する。</p> <p>英語が苦手な人も、努力と訓練如何でしっかり読めるようになるということを実感していただく。目標を達成するために意欲を持って授業に望んでいただきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2独語	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語の基礎を復習しながら、簡単な会話と文法、表現の仕方などを発展させる。 2. 現代ドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 	
<p>【テキスト】 "Nach Deutschland"を使用する。 その他については開講時に説明する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と表現――ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。 2. ドイツ語会話――会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。 3. ドイツ語の文構造理解――基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。 4. 文化理解――ドイツで作られたスライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。 5. 文章理解――辞書を使って、やさしいドイツ語の童話などを読んだりして、ドイツ語の文に慣れる。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。 3. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。 4. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動をして、ドイツの対しての正しい知識と理解を得る 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気ですら充実した学習ができるようにする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱー1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>いくつかの映画のシナリオを教材にして、映画からフランス人の心や文化、歴史を学んでいきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>-----《Si on allait au cinéma》---川合ジョルジュット---白水社-----</p> <p>【参考書】</p> <p>《3 hommes et un couffin》, 《Jeux interdits》, 《Diva》etc.</p>	
授 業 計 画	
<p>教科書には4つの映画のシナリオがあります。</p> <p>『サンドイッチの年』『ニキータ』『愛さずにはいられない』 『ロミュアルドとジュリエット』です。</p> <p>その他に、『赤ちゃんに乾杯』『禁じられた遊び』『ディヴァ』の3作品のシナリオを用意しています。そのシナリオはコピーして皆さんにお渡しします。どの作品も心を打つものばかりです。一緒にフランスの心を味わいましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポート提出</p>	

專門教育科目（2年）



【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】 昨年度のゼミを継承する。ただし、当初、学外研修にかかわり、沖繩史を学習する。次いで、昨年度残した課題をとりあげる。</p>	
【テキスト】資料プリント等を配布する。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>1. 学外研修の準備 (1) 準備うちあわせ (2) 沖繩史学習 (3) 映像資料の上映</p> <p>2. 研究課題 (1) 沖繩の英雄叙事歌謡 (2) 沖繩の叙事伝承 (3) ヤマト(大和)の英雄叙事詩 —— ヤマトタケル(日本武尊) —— 吉備津彦と鬼の城(桃太郎伝承)</p>	
【評価方法】 1.ゼミ試験 2.レポート 3.発表内容	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>一年次の学習の上に立ち、『源氏物語』第二部（若菜上～幻）までを扱う。六条院態勢の内部崩壊という主題に関わって、物語の方法は大きく変わる。</p> <p>六条院はなぜ崩壊するのか。どう崩壊していくのか。紫の上の心理の解明を計りつつ、仕組まれた物語の方法について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>日本古典文学全集『源氏物語』4（小学館）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 物語の舞台設定は、二条院・二条東院から六条院へと拡大する。この二つの場の距離が、第二部の構想を支えることになる。先行論文により場の問題を考えることから始めたい。 2, 五月、京都への研修旅行。源氏物語の舞台となったところを実地にまわり、<土地勘>を養う。事前準備が重要。 3, きわめて読みにくい所であるが、「若菜上」を取り上げる。六条院体制の崩壊の仕組みをとらえたい。 4, 授業を越えて、「若菜下」まで目を通すことが課題となる。 <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 第二部最後の「幻巻」を読む。退場直前の老いた源氏の目に映るものは何か。これを批判的に検討することで研究のまとめをしていきたい。 2, 卒業研究と併せて、検討を深めたい。 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">————— 2年次の目標</p> <p>1年次に養った「文学の魅力を深く味わえる能力」を基礎に、 いよいよ、<u>学問としての 文学研究の方法</u> を身につけ、 「もう一つの別世界=作品世界」の秘密を探る。 また、「時代の中での作家」の問題も考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「教科書」は用いない。 ゼミの進行にあわせて、順次、指定された本（安価な文庫本）を購入する必要がある。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じ、演習中に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p style="text-align: center;">諸君が卒業論文で取り上げる作品を中心に、 専門家を書いた研究論文も含めて学びつつ、 文学研究の方法上の問題 について、より深く考え、身につける。</p> <p style="text-align: center;">作品世界の内部構造を探る「作品研究」を中心に進めるが、 （時間的に可能ならば）「作家研究」にも挑んでもらう。</p> <p style="text-align: center;">「文学研究」には、学問としての厳密さと客観性が必要である。 しかし、文学研究の基礎が、あくまでも 「自分の自由なイマジネーション」であることを忘れないこと。 なぜなら、 文学研究の「研究対象」自体が、 「紙に書かれた字の集まり」ではなく、 われわれ読者、一人一人の中に浮かぶ、 「それぞれのイメージ世界」 だからである。 「この現実」とは別の「もう一つの別世界」を研究することは、 我々が厳しい現実の中で生きて行くうえで、極めて大きな力 になる。 「別世界を知っている」ということは、自らを囲む狭い「現実」を、 相対化しながら見る「足場」を持つことだからである。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点を主に、筆記試験（ノート、書物等、<u>何でも参照可</u>）を加味する。 ゼミに<u>真面目に参加し、努力して読み続ければ、大丈夫、「A」は確実！</u></p> <p style="text-align: center;">ダラダラ怠けてしまえば、結果は悲惨！</p>	

【授業科目名】 教養演習Ⅱ	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次からのそれぞれの作品研究を続け発展させる。 2. 英米児童文学史を1年次とは別の角度から学んで、立体的に理解する。 3. 各自のテーマ研究を深めるための文献研究を進めていく。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>神宮輝夫監訳「オックスフォード世界児童文学百科」原書房 定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房 百々佑利子「児童文学を英語で読む」岩波ジュニア新書 タウンゼント「英米児童文学の歴史」岩波書店</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学史と評論を読んで自分の研究の位置を把握していく。 2. ゼミ旅行などを利用して先人達の研究方法を学んだり、卒業研究のための資料収集を行う。 3. 各自の進行状況をゼミで発表し、ゼミ全体でお互いから学びあっていくために討論を続ける。 4. 夏休みに各自の取り上げた作品についてのレポートを15枚以上を書いて、卒業レポートの構成をまとめていく。 5. 英米児童文学史を学んで、各自の作品の生まれた社会背景や歴史的な意義などについても研究して幅広い理解ができるようにする。 6. インターネット等を使って外国の図書館や研究期間から資料を検索して利用する。 7. 卒業レポートの個人指導と並行しながら、ゼミでの中間報告を行い批評しあって研究を深める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。</p>	

【授業科目】 教養演習 II	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>まもなく社会人として就職して行く学生たちに、経済的自立の重要性と女性の職場の諸問題を考えさせ、問題解決の方向性を探る。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>1、前年度に引き続き現代の女性や家族が抱えている諸問題について考察するが、2年次では特に「女性と職業」に重点をおいて学習する。</p> <p>2、21世紀は少子・高齢社会である。これからの社会では男女が互いに支え合いながら職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。伝統的な性別役割分業意識を見直し、職業生活と家庭生活の両立をめざすにはどうしたら良いかを探る</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>本格的に歴史を学ぶ 前期は、1年次の蓄積を生かし、より高度な専門書に取り組む。その一方で自らのテーマの設定に向けて問題関心を整理していく。後期では、卒業研究を執筆するために個々のテーマを深く掘り下げることが目標となる</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>メンバーと相談して決める</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>共通したテキストを決めて読みあわせていくが、それぞれのテーマを設定し、追求することが重要で、できるだけそれに沿った報告の方法を考えたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>毎回の報告と時々の小レポートで評価する</p>	

【授業科目】 教養演習II	【担当者】 小松香織																		
【開講期】 2年 前期・後期																			
<p>【授業目標】</p> <p>米文学の代表的作品を取り上げて、作家および作品について研究する。文学史の流れに沿って優れた文学作品を味わいながら、より高尚な知性と教養を身につけていきたい。</p>																			
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指示する。</p>																			
<p>【参考書】</p> <p>授業で指示する。</p>																			
授 業 計 画																			
<p>各作品ごとに、担当者を決めて、作家とその作品の背景や内容について、詳しく調べて発表してもらおう。</p> <p>取り上げる予定の作品</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">Nathaniel Hawthorne</td> <td><i>The Scarlet Letter</i></td> </tr> <tr> <td>Henry James</td> <td><i>Daisy Miller</i></td> </tr> <tr> <td>Mark Twain</td> <td><i>Adventures of Huckleberry Finn</i></td> </tr> <tr> <td>Sherwood Anderson</td> <td><i>Winesburg, Ohio</i></td> </tr> <tr> <td>F. Scott Fitzgerald</td> <td><i>The Great Gatsby</i></td> </tr> <tr> <td>Earnest Hemingway</td> <td><i>The Old man and the Sea</i></td> </tr> <tr> <td>John Steinbeck</td> <td><i>East of Eden</i></td> </tr> <tr> <td>J.D. Salinger</td> <td><i>The Catcher in The Rye</i></td> </tr> <tr> <td>John Updike</td> <td><i>Rabbit, Run</i></td> </tr> </table>		Nathaniel Hawthorne	<i>The Scarlet Letter</i>	Henry James	<i>Daisy Miller</i>	Mark Twain	<i>Adventures of Huckleberry Finn</i>	Sherwood Anderson	<i>Winesburg, Ohio</i>	F. Scott Fitzgerald	<i>The Great Gatsby</i>	Earnest Hemingway	<i>The Old man and the Sea</i>	John Steinbeck	<i>East of Eden</i>	J.D. Salinger	<i>The Catcher in The Rye</i>	John Updike	<i>Rabbit, Run</i>
Nathaniel Hawthorne	<i>The Scarlet Letter</i>																		
Henry James	<i>Daisy Miller</i>																		
Mark Twain	<i>Adventures of Huckleberry Finn</i>																		
Sherwood Anderson	<i>Winesburg, Ohio</i>																		
F. Scott Fitzgerald	<i>The Great Gatsby</i>																		
Earnest Hemingway	<i>The Old man and the Sea</i>																		
John Steinbeck	<i>East of Eden</i>																		
J.D. Salinger	<i>The Catcher in The Rye</i>																		
John Updike	<i>Rabbit, Run</i>																		
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業参加態度、発表内容、レポート等により総合的に評価する。</p>																			

【授業科目名】 教養演習Ⅱ「日本伝統文化史」2	【担当者】 高橋秀雄
【開講期】 2年 前期・後期	
【授業目標】 1年次で学んだ日本芸能文化の特徴と内容をさらに分析し、それぞれに設定した主題を探究する。	
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない 参考書：各種芸能文化関係書（その都度指示する）	
授 業 計 画	
<p>1年次に習得した結果を基本として、自ら追求したいテーマを選び、これについての研究を進める。それぞれのテーマのうち共通するものについては、必要に応じてグループによる報告と討論を行ない、個別的なテーマについては調査、研究の成果を報告し、質疑や討議を重ねて研究成果をまとめあげる。</p>	
【評価方法】	1. 演習時のレポート 2. 演習時の平常点 } 左記2項による総合評価

【授業科目名】 卒 業 研 究	【担当者】 専任教員・高橋・小松
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学生各自が自主的にテーマを決めて作成する。ただし、共同研究も可。枚数は400字30枚以上。所属ゼミでの研究を基礎にすることが望ましい。</p>	
【テキスト】	

【参考書】	
授 業 計 画	
<p>執筆に先だちガイダンスを行い、その意義や叙述のしかたなど一般的な事柄について指導する。後期はゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など具体的な事柄について個別に指導する。レポート提出後、例年、発表会を行っている。</p>	
【評価方法】	

【授業科目】 英会話II

【担当者】 ライラ・コルスイ

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

英語の日常会話をマスターすること

【テキスト】

プリント

【参考書】 英和 - 和英 辞典 2冊を毎回持参すること

授 業 計 画

1. I'd like to talk about _____
(3-minute talk)
2. Conversation Exercises
3. Grammar Exercises
4. Vocabulary
5. Discussion

【評価方法】

10回目のレベルチェックテストと15回目のテストの
進歩度合いと授業中の積極的参
加。

【授業科目】 時事英語	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活、文化、環境、福祉、平和問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21世紀社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて、英語を理解する力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 <p>[テキスト・参考書] ----- 開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような練習を行い、重要表現を習得して、音声による表現力をつける。 2. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができるような文章の内容理解の方法を学ぶ。 3. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、福祉、平和問題などを取りあげた英語教材を用いて、広い視野で学び、世界の多くの文化や歴史的背景を理解し、将来世界の様々な分野で活動するための基礎的な教養を身につけられる英語学習にする。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ、英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 5. 英文ニュース作り、自己表現文集作りなどによって実践的な英語力を高める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答やレポートおよびテストなど総合的に行う。</p>	

【授業科目】 ビジネス英語	【担当者】 菊地 恵子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>職場や社会、社交の場などでの適切で丁寧な英語表現を中心に、ペアおよびグループで実際的な練習をしながらリスニングやスピーキングの力を高めることを目標とする。同時に、社会や経済についてのニュース英語のビデオや記事等も使用して、広い意味での社会的教養も身につけられるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>未定 (授業開始前までに連絡) 自作教材も併用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1 毎回、英語での自己紹介、自分の仕事の説明、電話での会話、面談予約の取り方等をペアおよび小グループで練習する。 2 関連するビデオやテープ教材もあわせて学習する。 3 現代、同時進行でおこっている世界の政治、経済、社会面のニュースなどもビデオやプリント教材等で随時学習する (含リーディング・ライティング)。 4 コンピュータ室の利用が可能であれば、基本的なタイピングから英文レターの書き方まで練習する。 5 評価は、実技を中心とするが、期末に学習した内容に関する総合的なテストも行う予定。 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点 [出席、会話練習など実技への取り組み方、提出物、質問、意見発表等] と試験結果を総合して行う。</p>	

【授業科目】 英米の歴史	【担当者】 太田典子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスの植民地支配からの独立を達成し、成分憲法に基づく近代国家を建設したアメリカ合衆国の歴史を通して、その文化・社会の特色や抱える問題を理解することをねらいとする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>本田創造『アメリカ黒人の歴史』（岩波新書、1991）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この講義では、建国から第二次世界大戦までのアメリカ合衆国の歴史を、黒人の歴史に注目しながら論じる。</p> <p>主な講義項目は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 独立革命と建国 2. 「綿花王国」の形成と北部の工業化 3. 南北戦争と再建の時代 4. 世紀転換期のアメリカ 5. 1920年代の文化 6. 大恐慌とニューディール 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートまたは期末試験（現段階では未定）＋出席点</p>	

【授業科目】 インターネットの英語	【担当者】 衣川清子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>インターネットのメディアとしての画期的な点はインタラクティブ（双方向的）ということである。無限の情報を受け取ることができると同時に、自分からも世界に向かって自己表現し、情報発信できることがインターネットの強みである。従ってこの授業では、インターネットで使われている共通語である英語について学ぶだけでなく、その英語を使ってインターネットの世界に参加することを目標としたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし（プリント使用）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>受講者のインターネット・スキル、興味・関心に応じてフレキシブルに授業を進める予定。インターネット及びインターネットの英語の基礎知識をまず学び、最終的には自分のホームページを作る「ホームページ制作プロジェクト」に取り組み、最終授業までに完成させること。</p> <p>扱うトピック（予定）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットおよびインターネットの英語の基礎知識 ・サーチエンジン（検索機能）の使い方 ・ホームページの閲覧 ・E-mailの基礎知識 ・Reading for information ・ワープロソフトの使い方 ・ホームページ制作プロジェクト ・ネチケット（ネット・エチケット） <p>*コンピュータやインターネットの初心者でもOKだが、日常的にタイピングの練習をし、ブラインド・タッチ（キーボードを見なくてもタイプできること）ができるようにすること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点評価。定期的に担当教員に英語のE-mailを送ることが義務づけられる。また、最終授業時までに自分のホームページを作る。</p>	

【授業科目名】異文化コミュニケーション	【担当者】瀧口 優
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される文化を認識する。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 詩歌の鑑賞	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の詩歌について、その抒情の特質について考える。 特に「女歌」の流れを、近現代の短歌・詩を見ることで、女性と文学の関係性について考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリントによる。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>ジェンダー（社会文化的な男女の性差）が論じられるようになって、詩歌の世界でも、あらためて表現と性差の問題が、「女歌」論としてクローズアップされるようになった。</p> <p>この講義では、まず、近・現代の詩歌をとりあげ、恋愛・性・家・家族・産む育てる、ことがどのように詠われてきたかを見たい。</p> <p>*「女性」性、「母性」性は、どう捉えられていたのだろうか。</p> <p>また「女歌」は視野が狭く、気宇壮大な「男歌」に劣るものという見方も根強い。</p> <p>*はたしてそうなのか。</p> <p>*文学作品の評価と、ジェンダーの問題。</p> <p>以下の詩歌を「鑑賞」しながら、考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代以前の「女歌」 ・与謝野晶子（山川登美子）の歌と詩 『みだれ髪』（チョコレート語訳で、万智ちゃんの歌も一緒に見てしまおう）、『恋衣』など ・金子みすず ・『昭和万葉集』から、戦時下の女たちの歌 ・河野裕子『森のやうに獣のやうに』 ・道浦母都子『無援の抒情』 ・石垣りん・茨木のりこ の詩から 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験により評価。</p>	

【授業科目】 説話文学	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】「説話」とは、口承または書承によって伝承されたさまざまな話のことです。神話・伝説・昔話・世間話・逸話・歴史話・童話などがこれにあたります。この授業では、日本の古典に記載され、広く知られている説話をとりあげます。近代にまで伝えられている口承説話と比較しながら、その変容の意味や原話の姿を考察していきます。</p>	
<p>【テキスト】拙著『沖繩・奄美の説話と伝承』（おうふう・刊） 他に、古典のプリントを用意する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>下記の説話をとりにあげる予定です。古典のテキスト(本文)は精読します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 羽衣説話 — 『謡曲』、『丹後国風土記』— 天人女房 2. 浦島説話 — 『御伽草子』、『丹後国風土記』— 神婚説話 3. 百合若伝説 — 『幸若舞曲』、『説経正本』— 百合若さま 4. 棄老伝説 — 『大和物語』、『今昔物語』— 姥捨て 5. 継子説話 — 『落窪物語』、『御伽草子』— 継子話 	
<p>【評価方法】定期試験時の筆記試験による。ただし、テキスト・ノート参照可とする。</p>	

【授業科目】 平安文学	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>平安時代の文学の基本は、和歌にある。古今集の正統性からは外れた位置で、したたかに自己の抒情の方法を模索した和泉式部に焦点を当てて、その文学の特質について考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリント・岩波文庫『和泉式部日記』</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>和泉式部の作品研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、和泉式部の和歌（『和泉式部歌集』） <ul style="list-style-type: none"> 歌集は1500首ほどの歌を含むが、代表的な歌を紹介しながら、和泉の詠法の特徴をつかみ、短詩型文学の達成について考えたい。 2、『和泉式部日記』 <ul style="list-style-type: none"> 平安時代の日記文学の中でも、140首以上の和歌を含む特異な作品。ほとんどが敦道親王との恋の贈答歌である。和歌により、身分差を越えたコミュニケーションの可能性を切り開く、日記の展開に注目していく。 3、和泉式部伝説の語るもの <ul style="list-style-type: none"> 母子相姦の話（『御伽草子』）まで飛び出したりする、和泉式部にまつわる様々な説話について、なぜそのような享受がなされるのか、時代背景とともに、和泉の和歌の問題として考えてみたい。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。ワンポイント・メモ、定期試験時レポート</p>	

【授業科目】 中近世の文学	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。</p>	
【テキスト】 武蔵野書院『大経師昔暦・心中天網島』	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>〔授業の概要〕</p> <p>I. 講義</p> <p>1. 中世文学概説</p> <p>2. 近世文学概説</p> <p>II. 作品講読 (近世)</p> <p>1. 近松門左衛門『心中天の網島』</p> <p>III. 作品研究</p>	
【評価方法】 定期試験時の筆記試験。ただし、テキスト・ノート参照可。	

【授業科目】 近現代の文学	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>谷崎潤一郎・武者小路実篤・志賀直哉・有島武郎等からプロレタリア文学に到る時期を中心に、日本の近代作家とその作品について講義する。</p> <p>①徹底して「作品世界」の中に入ること（作品論）、</p> <p>②時代の中での作家の在り方を考えること（作家論）の両面を目指したい。</p>	
【テキスト】 教科書は用いない。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順で講義する。</p> <p>① 大逆事件と新たな作家群の登場。</p> <p>② 永井荷風と耽美派の文学。</p> <p>③ 谷崎潤一郎——『刺青』『春琴抄』を中心に。</p> <p>④ 武者小路実篤と白樺派の文学。</p> <p>⑤ 志賀直哉——『和解』を中心に。</p> <p>⑥ 有島武郎——『或る女』を中心に。</p> <p>⑦ 有島武郎と芥川龍之介の自殺。</p> <p>⑧ 小林多喜二と日本プロレタリア文学。</p> <p>⑨ 横光利一・川端康成・堀辰雄。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 英米の文学	【担当者】 三石庸子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>英米の代表的作家・作品を時代の流れを追いながら概観していく。文学史のおよその流れと、代表的な作家や作品について知ることが目標である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】 授業中に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>4月 イギリスの17世紀までの作家・作品について。</p> <p>5月 イギリスの19世紀まで。</p> <p>6月 イギリス現代とアメリカの19世紀までの作家・作品について。</p> <p>7月 アメリカの現代まで。</p>	
<p>【評価方法】 出席状況と学期末のテスト。</p>	

【授業科目】 民俗学

【担当者】 東 喜望

【開講期】 2年 後期

【授業目標】 古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らなかったために、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では、古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の世界観などを対象にして考察を進める。なお、民俗の宝庫とされる南西諸島を事例とする。

【テキスト】 拙著『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう・刊)

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

講義では、およそ以下の項目をとりあげる。

はじめに — 民俗とは何か。民俗学とはどんな学問か。

1. 自然と人類 — 「伝承」の意味
2. 人間の意識の領域と神観念
3. 非定住から定住へ
4. ムラの形成とその構造
5. 村落祭祀と民俗行事
6. 生活文化 — 衣・食・住
7. その他、民俗事項。

【評価方法】 定期試験時の筆記試験。テキスト・ノート参照可とする。

【授業科目】 中近世の歴史	【担当者】 西村 汎子		
【開講期】 2年 後期			
<p>【授業目標】</p> <p>日本の中世というと「乱世」を思い浮かべる人が多いかもしれない。また、書院造の建物や茶の湯・いけばな・能狂言・お伽草子などの民衆文化が花開いた時代だと思う人もいるだろう。暗さと明るさが同居しており、今日とはだいぶ様相のちがう時代に、人々、ことに庶民たちはどんな暮らしをし、どんな思いを抱いていたか、考えてみたい。</p>			
【テキスト】			
<p>【参考書】『大系日本の歴史』 6.内乱と民衆の世紀（永原慶二） 7.戦国大名（脇田晴子） 8.天下一統（朝尾直弘） 小学館 1981年</p>			
授 業 計 画			
<p>近年、中世史研究では、具体的な生活への関心が高まり、また神話・説話・絵巻物などから時代を復元しようとする試みが行われている。この講義でもそのような成果をとりいれつつ、授業をすすめていきたい。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>1.はじめに</p> <p>2.古代から中世へ</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 浮浪人の大量発生</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 領主制の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 平安時代の村落と民衆</p> <p>3.鎌倉幕府体制の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 治承寿永の内乱</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 鎌倉幕府の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 地頭と農民</p> <p>4.下剋上の社会</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 室町幕府体制</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 土一揆と惣村の自治</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 町衆と都市</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 戦国大名の成立と太閤検地</p> </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>5.中世の民衆の意識と文化</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 十五歳という年齢</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 能狂言から</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 日欧文化比較</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) すがた・かたちから</p> </td> </tr> </table>		<p>1.はじめに</p> <p>2.古代から中世へ</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 浮浪人の大量発生</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 領主制の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 平安時代の村落と民衆</p> <p>3.鎌倉幕府体制の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 治承寿永の内乱</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 鎌倉幕府の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 地頭と農民</p> <p>4.下剋上の社会</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 室町幕府体制</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 土一揆と惣村の自治</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 町衆と都市</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 戦国大名の成立と太閤検地</p>	<p>5.中世の民衆の意識と文化</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 十五歳という年齢</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 能狂言から</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 日欧文化比較</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) すがた・かたちから</p>
<p>1.はじめに</p> <p>2.古代から中世へ</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 浮浪人の大量発生</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 領主制の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 平安時代の村落と民衆</p> <p>3.鎌倉幕府体制の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 治承寿永の内乱</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 鎌倉幕府の成立</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 地頭と農民</p> <p>4.下剋上の社会</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 室町幕府体制</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 土一揆と惣村の自治</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 町衆と都市</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 戦国大名の成立と太閤検地</p>	<p>5.中世の民衆の意識と文化</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 十五歳という年齢</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 能狂言から</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 日欧文化比較</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) すがた・かたちから</p>		
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポート</p>			

【授業科目】 近現代の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>戦前の大正デモクラシー期から戦時体制への移行期を題材に、社会の大きな変化と人々の生き様との織りなす関係を見つめてみたい。この流れの中で作られた社会と人々をつなぐメカニズムは、色々な側面で、今現在の私たちの社会に根強い影響を与えていると考えるからである。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>藤原彰・今井清一編『15年戦争史』Vol.1など。他にも多数あるので講義中に逐次紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>時間的経過に従って事実を追いながら話を進めていくが、文献的な史料だけではなく、当時の出来事や人々の生活を映し出した映像なども多く利用し、具体的なイメージが描けるような工夫をしたいと考えている。</p> <p>また、当時大流行した映画をはじめ、新聞や放送などマスメディアがどのように時代を演出し、人々の意識や行動に影響を与えていったかについても触れたいと思う。</p> <p>講義の最初は、近代化過程の特徴を大枠でとらえるために、明治期について少し触れる。その後、テーマに即して以下のような柱立てで進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇開国と上からの近代化－殖産興業と富国強兵 ◇民権、議会と明治憲法体制 ◇「脱亜」と日清、日露 ◇総力戦としてのⅠ大戦と資本主義発展 ◇大正デモクラシーの意義と限界 ◇経済、金融の閉塞状況とアジアへの活路 ◇満鉄爆破と「満州国」 ◇満州事変と新聞、映画、軍国美談、愛国行進曲 ◇映像に見る大陸の日本軍 <ul style="list-style-type: none"> 映画『戦友の歌－黄浦江』(昭和11年)、『南京』(昭和13年)、『支那事変海軍作戦記録』(昭和14年)、そして『戦ふ兵隊』(昭和14年) ◇近代の帰結＝15年戦争の意味 	
<p>【評価方法】</p> <p>、学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 東アジアの歴史	【担当者】 佐藤いづみ
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本軍政期の東南アジアの歴史を学び、「大東亜共栄圏」の実態に迫る。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業科目は東アジアの歴史となっているが、東南アジアの近現代史を学ぶ。東南アジアは日本に近く交流も多いが、高校の歴史ではほとんど触れていない。講義では前近代史を概観しながら、特に日本軍が軍事占領した時期のベトナムに焦点を当て、「大東亜共栄圏」肯定論を検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 東アジア前近代の交易体制…… 「海禁」と「鎖国」の交易網？ ② 中国の支配を受けた東南アジア大陸部…… 日本語とベトナム語は兄弟？ ③ 「港市国家」の島嶼部東南アジア……ヒンドゥー化・イスラム化の波と 東南アジア文化の多様性 ④ ベトナムにおける植民地支配とは？ ……ファン・ボイ・チャウの告発から人々の暮らしを考える。 ⑤ カトリーヌ・ドヌーブ主演 映画『インドシナ』 ⑥ 近代日本へのまなざし ……日露戦争とベトナム人の日本留学運動の挫折 ⑦ 15年戦争における「仏印進駐」の位置づけ ……何故日本軍は戦火を東南アジアへ拡大したか。 ⑧ モノカルチャ経済の形成と3大米輸出地帯 ……戦争による交易ネットワークの破壊と飢餓の発生 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中のミニレポートと学期末のレポートによって評価します。</p>	

【授業科目】 日本女性史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性がさまざまな障害をのりこえて、真に人間らしく生きていく展望を得るために、過去の女性の歴史を振り返ってみることは重要であろう。半年の課程なので、原始から近世までの前近代の女性史を中心とし、近代以降には簡単に触れる予定である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『日本女性の歴史—性・愛・家族』総合女性史研究会編 角川書店</p>	
<p>【参考書】</p> <p>『文学に見る日本女性の歴史』西村汎子ほか編 吉川弘文館</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男性と比較しながら、各時代の女性の役割と地位、財産権、家族関係、道徳観、理想像などに注目し、たくましく生きた女性の生涯についても、できるだけとりあげたい。当時の法令、日記、文学、絵巻物などを通じて、女性たちの生活を考えていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原始女性は太陽であった—原始の平等生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 男女平等時代の存在 2) 性別役割分担 3) 性差別を生まない理由 4) 婚姻・家族関係 5) 神話の中の女性像 2. 性差別の始まり—古代の家族生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 律令制度と家父長制 2) 財産相続 3) 万葉集にみる民衆の生活 4) 平安貴族の妻の生活 5) 紫式部はなにをいいたかったか。 3. 嫁取り婚への動き—中世の女性たち <ol style="list-style-type: none"> 1) 家業の継承と家父長権の強まり 2) 男女の協力と役割分担 3) 分割相続と後家の権限 4) 婿入りから嫁入りへ 5) 室町戦国期の庶民の女性像 4. 封建道徳の確立期 <ol style="list-style-type: none"> 1) 女性の労働 2) 「家」と女性の経済的地位 3) 婚姻形態 4) 買売春—公娼と私娼 5) 女性の理想像—女大学・滑稽本 5. 近現代の女性解放 <ol style="list-style-type: none"> 1) 明治民法下の女性 2) 戦後の女性解放 3) 男女雇用機会均等法制定以後 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末テストによる。あらかじめ提起した課題の中から出題する。</p>	

【授業科目名】 芸能史	【担当者】 高橋秀雄
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 芸能ということばは、今日、もっとも広く用いられ、およそ肉体による演劇的、舞踊的、音楽的表現を総称するが、本来の芸能ということばの語義を再確認するとともに、その歴史的な変転を詳しく探究することとする。	
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない 参考書：各種芸能関係書（その都度指示する）	
授 業 計 画	
<p>芸能とは何かという命題を考究しながら、芸能の本質を明らかにし、さらに芸能事象の内容を分析し、それが史的にはどのように展開していったのかについて論述する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 芸能の語義 2. 芸能ということばが包含する内容 3. 芸能の種類分類 4. 芸能伝承論 5. 芸能史としての存立 6. 祭りと芸能 7. 民俗芸能論 — 神楽 8. 民俗芸能論 — 田楽 9. 民俗芸能論 — 凡流 10. 現代芸能論 	
<p>【評価方法】 1. 期末レポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点</p> <p style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</p> <p>左記3項による総合評価</p>	

【授業科目】 現代女性論	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>性別役割分業の社会システムの問題性を明らかにし、男女共生社会を実現していくための課題を考える。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 授業の中で資料を配布し、適宜必要な参考文献を紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>少子・高齢社会を迎えて女性を取り巻く社会環境は大きく変化し、女性の生き方も多様化しています。しかし「男は仕事・女は家庭」という性別役割分業意識と性別役割分業を基本とした社会システムは依然として存在し、女性が自立して生きることはまだまだ難しい状況にあります。そこでこの授業では、女性の生き方と関係が深い家族・家庭、教育、労働、福祉などの諸問題をジェンダーの視点から捉えることによって、現代女性のおかれている問題状況を把握し、問題解決への理解を深めると同時に、これからの望ましい男女の生き方について考えます。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性の権利の歴史 2. 女性の自立と性別役割分業 3. 女性と家族・家庭 4. 現代社会と女性労働 5. 女性と社会保障 6. 男女平等を求める世界の動き、日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 女性労働論	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 1. 働くことの意義を理解する 2. 女性労働が抱える問題点を明らかにし、解決への方向性を探る。	
【テキスト】 - -	
【参考書】 授業の中で資料を配布し、参考文献を紹介する	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、解決への方向性を探る。なお職場における女性の状況を認識するために、学生自身が新聞や雑誌などから女性労働に関する情報を収集する課題を出す予定である。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近代日本における女性労働の歩み 2、女性労働の現状と課題 3、女性労働と法 4、女性労働の国際比較 5、男女共生の社会システム 	
【評価方法】 学期末試験、平常時の提出物、出席状況の総合評価	

【授業科目】 現代企業論	【担当者】 吉田豊明
--------------	------------

【開講期】 2年 後期

授業の目標 企業は学生にとって、あまり身近な存在ではない。まず企業とは何かという定義からスタートして、企業の存在が実は実生活に深くかかわっていることを認識してもらい、ついでインターネット、ビデオ、新聞、経済雑誌などの多様なメディアを使って一ときどきの話題の企業のケーススタディで取り上げ、クラス全員で討議する。このプロセスを通じて学生が企業についての情報の収集の仕方、収集した情報の分析の方法を学び、将来、企業に就職の際、自分に適した企業を選択できる力をつける。

【テキスト】 「やさしい会社入門」(市原祐則著、日経事業出版) 950円

【参考書】 「執行役員」(吉田春樹著、文芸春秋社) 680円
「経営革命の構想」(米倉誠一郎、若水書店) 700円

授 業 計 画

「企業社会」といわれ、現代は企業が支配する時代ともいわれてきた。特に日本では、戦後、大企業が台頭、積極的に設備投資を進め、雇用を増進、経済成長の担い手となってきた。しかし、1990年代にはいり、バブル経済が崩壊すると、企業はリストラで、従業員を整理、日本経済の特徴であった終身雇用、年功序列賃金体系も見直そうとしている。企業はいま「日本的経営」から脱して、グローバルスタンダード（世界標準）に近づけるために懸命な努力をしているところで、岐路に立っている。

講義では、企業組織の基本となる常識からスタートして、現在のトップマネジメントで、大きな流れとなりつつあるカンパニー制、執行役員制などの新しい動きまで学ぶ。

- 会社の歴史と組織の移り変わり（1－5週）
 - 日本で株式会社はいつできたのか。
 - 業種の分類 これから伸びる業種は
 - これまで栄えた企業、これから栄える企業
 - 上場企業と非上場企業の違い
- 会社の情報の集め方（6－10週）
 - インターネットの活用、ホームページの読み方
 - 経済新聞、専門新聞、経済雑誌の読み方
 - 海外の企業の情報の収集の仕方
 - 倒産の危険信号のつかみ方（長崎屋、ヤオハン）
- 会社の新しい動向研究（11－15週）
 - リストラ 終身雇用や年功序列賃金の修正
 - アウトソーシング
 - 執行役員制度、カンパニー制
 - 環境対策、株主との緊密な関係の維持
 - CS（顧客の満足度）を最大にする工夫

【評価方法】

期の中はレポートの提出をお願いします。
 自分なりに企業についての分析、判断ができるようにしてください。
 どうかが理解できるのが目的です。

情報・資格科目 情報科目（2年）



【授業科目】 情報処理論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報化時代における、自分の力量向上をめざして情報の考え方と何のためにコンピュータを使うのかについて述べたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中その都度あげる。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今日の情報社会の進展は、これまでの OA 機器や情報機器の導入による知的生産性の向上に止まらず、これから求められるものは情報を抽出する、情報を分析する、データから情報を読みとる、問題を発掘する、問題を解決する、新しい概念を創り出す、戦略を立案するなど思考活動であり、創造的な活動が求められてくる。</p> <p>本講義では、情報機器を知的な生産活動のためにどのように活用していくか、また活用していかなければならないかを中心に進めていきたいと思っている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート及びテスト</p>	

【授業科目】 情報ネットワーク論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>インターネットは企業・大学・公的機関などが相互接続してできあがった世界的なネットワークである。この通信網は世界の国々や人々が利用している。</p> <p>本講義では、ネットワークの仕組みや用途と、特に人間関係と情報社会の関わりについてのべたいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中その都度あげる。</p>	
授 業 計 画	
<p>今日の情報社会は、ネットワーク社会であり、コンピュータと通信に囲まれている。産業や経済では、ネットワークは重要な役割を担っている。</p> <p>講義は、以下の内容で考えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ネットワーク構造の社会の歴史 (2) ネットワークとは何か (3) インターネットの仕組み (4) ネットワークというコミュニケーション革命について 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート及びテスト</p>	

情報・資格科目 ビジネス実務士科目(2年)



【授業科目】 ビジネス実務総論	【担当者】 杉浦 允
-----------------	------------

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

ビジネスは、経営管理を支える重要な業務として捕らえることが出来ます。

ビジネスには何が必要か、組織はどう機能すれば良いか、そこで働く人々はどの様に行動すべきかなど、ビジネスについての基礎知識と業務処理技術について分かりやすく講義します。

【テキスト】

【参考書】

テキストは、ありませんが、参考書として、
杉浦 允著 「オフィスマネジメント」学文社を使います。

授 業 計 画

回数	講義項目	主な講義内容	備考
1	1. ビジネスとは、	ビジネスとは、ビジネスの形態・種類	
2	2. ビジネス組織	組織とは、組織の階層、管理責任、	
3	2. 3. ビジネスの基本	システム概念、管理の諸要素、PDS	
4	3. ビジネス倫理と方針	経営理念、社会的責任、PR.	
5	4. ビジネスの職場	職場とは、仕事、執務に就いて、	
6	5. 企業が必要とする人材	望まれる人柄と性格、仕事に必要な技能	
7	6. 仕事の基本姿勢	上役を助け、同僚との協調、仕事の基本	
8	7. 環境変化への対応	情報化時代の環境変化、人間関係、	
9	8. 命令の受け方、報告	命令の受け方と報告の仕方、	
10	8. 3. 報告書の作り方	計画・実行・検討、報告ミスについて	
11	9. 行動予定の管理	日程管理、予定表、アポイントメント、	
12	10. 交際業務	交際とは、慶事とお祝い、表書き、	
13	11. ビジネスマンの問題	問題解決のステップ、手順・種類・活用	

【評価方法】

出席条件を満たしたものに対して、試験を実施し合格点に到達したものについて平常点を勘案して評価します。

【授業科目】 ビジネス実務演習	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>職業意識を高め、職業人としての基本的な心構えと、ビジネス実務を効果的に行うための能力を養う</p>	
<p>【テキスト】 『日本企業の働く女性たち』 他.</p>	
<p>【参考書】 授業の中で資料を配布し、参考文献を紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I、コミュニケーション実務や情報の評価・収集・活用の方法、表現活動などオフィスワークの基本をビデオ教材などを使って学習し、視覚的にも理解を深める。</p> <p>II、『日本企業の働く女性たち』をテキストに銀行、信用金庫、証券、デパート、生・損保会社、航空会社などの女性たちの仕事について学ぶ。</p> <p>III、サービス産業で求められるワーカーの要件を理解するために、企業見学や、「女性と仕事の未来館」の見学を行うほか、本学先輩のキャリアウーマンたちを招いて職場の実態や仕事の内容、家庭と職業の両立などについて聞く。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業参加状況、レポートなどの総合評価</p>	

【授業科目】 オフィス・マネジメント	【担当者】 杉浦 允		
【開講期】 2年 後期			
【授業目標】 オフィスにおける事務管理活動について、事務システムや事務の効率化の問題、事務と情報との関連、事務処理の知識・技術をやさしく講義する。			
【テキスト】 杉浦 允著 「オフィス・マネジメント」 学文社			
【参考書】			
授 業 計 画			
回数	講義項目	主な講義内容	備考
1	1. 事務とは、	事務の定義、事務の内容、	
2	2. 事務管理と経営管理	事務管理の概要、事務管理の歴史、	
3	事務システム	システムの概念・構成、生産・販売	
4	各システムの内容	人事管理システム	
5	3. 事務の合理化	合理化の目的・内容、進め方、	
6	4. 事務統制	事務手続きの標準化、事務の品質管理	
7	5. OA化の影響	EDPの機能、管理者の課業・変化、	
8	6. 文書業務	文書事務とは、文書の作成、書式、	
9	社内文書	会議の案内・回覧・通達・伝言票、	
10	社外文書	取引に関する文書、社交的な文書、	
11	7. ファイリング・システム	FSの意味・概要・保管とまとめ方、	
12	8. 情報管理	情報の定義・概要・価値、機能、	
13	9. オフィス環境の整備	環境の整備、事務用機器の知識	
【評価方法】 出席条件を満たしたものに対して、試験を実施し合格点に到達したものについて平常点を勘案して評価する。			

情報・資格科目 博物館科目(2年)

【授業科目】 博物館実習	【担当者】 上野光子・平賀明彦
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 1年次の学内実習を受けて、見学実習と館務実習に取り組む。見学実習は、3～4のそれぞれ性格の違う館に赴き、学芸員の仕事内容について詳しく説明を受け、資料収集、収蔵、展示のプランニング、ディスプレイの構築などが実際にどのように進められ、またどのような点で苦勞や問題点を抱えているかを理解する。館務実習は、学内実習や見学実習の成果を生かし、それぞれが2週間程度、博物館で実務研修を行う。	
【テキスト】 特になし	
----- 【参考書】 必要に応じ紹介する	
授 業 計 画	
<p>見学実習の日時、場所などについては後日決定する。館務実習に臨んでは、実習オリエンテーション及び事前学習を行う。それぞれ掲示によってスケジュールを発表するので見逃さないように。</p>	
【評価方法】 1年次の学内実習、見学レポート、館務実習日誌などにより総合的に評価する	

【授業科目】 視聴覚教育メディア論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年 前期(前半)	
【授業目標】 印刷資料、視聴覚資料、デジタル資料等、図書館資料がもつ特質と役割を理解し、利用のために必要な機器操作等の技能を習得する。	
【テキスト】 な し	
【参考書】 『資料特論』(新・現代図書館学講座14) 東京 東京書籍 1998 『図書館資料論』(新編 図書館学教育資料集成5) 東京 教育史料出版会 1998	
授 業 計 画	
<p>図書館資料には、郷土資料と行政資料、印刷資料と視聴覚資料等、その資料が有する役割と特性がある。それぞれの特性を理解した上で、効果的なライブラリーの運用方法とレファレンス・ワークについて考える。また、自主資料制作のために必要な撮影技術や編集技能を習得する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.資料のもつ役割と特性 2.図書館資料の多様化と特色ある運用 3.実習：視聴覚資料の制作 <ul style="list-style-type: none"> 8mmビデオ撮影 ビデオ編集 	
【評価方法】 レポート／制作資料	

情報・資格科目 司書科目（2年）



【授業科目名】	図書館サービス論	【担当者】	森崎富喜
【開講期】	2年 前期		
【授業目標】	<p>図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する社会機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p>		
【テキスト・参考書】			
授 業 計 画			
<p>(1) 図書館サービスの意義と理念</p> <p>(2) 公共図書館におけるサービス</p> <p>(3) サービスの種類と方法 資料提供 読書案内 情報サービス 複写サービス 教育・文化活動</p> <p>(4) 利用対象者別サービス 児童 青少年 一般成人 高齢者 障害者 アウトリーチサービス 多文化サービス</p> <p>(5) 館種別図書館サービス</p> <p>(6) 図書館協力</p> <p>(7) 図書館サービスと著作権</p>			
【評価方法】	<p>平常点 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>		

【授業科目】 情報サービス概説	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結びつけ、人々の研究・学習を援助することである。近年、情報サービスという語が広範囲に使われているが、図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報サービス等について総合的に学習する。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスとは何か</p> <p>(2) 情報サービスの歴史と現状</p> <p>(3) 情報サービスの構造と機能 図書館機能と情報サービス機能 高度情報社会と情報サービス</p> <p>(3) 情報サービスの種類 直接的サービス 間接的サービス 協力ネットワークの形成</p> <p>(4) 情報検索とサービスの展開 情報検索の定義と種類 オンライン書誌情報検索 図書館における情報検索サービスの展開</p> <p>(5) 情報サービスの管理と資源 サービス方針と関連法規 担当職員の専門性と養成 情報源の種類と組織化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする</p>	
<p>【テキスト】 『情報源としての レファレンスブックス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995 『問題解決のための レファレンスサービス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) レファレンスプロセスの実際</p> <p>(2) 情報探索の方法 レファレンスインタビュー 質問の分析から情報(源)の提供まで</p> <p>(3) 情報源の種類と特性</p> <p>(4) 参考図書とレファレンスコレクション</p> <p>(5) 電子メディアの活用</p> <p>(6) 二次資料の作成</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時の演習レポートと期末レポート</p>	

【授業科目】 専門資料論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『専門資料論』戸田光昭ほか 樹村房 1998 (新・図説シリーズ)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) 専門分野の特性 人文科学、社会科学、自然科学等、各専門分野の概念と特性</p> <p>(2) 各専門分野の資料の特性と種類 人文科学情報 社会科学情報 自然科学技術情報 工学・工業技術情報</p> <p>(3) 主要な一次資料と二次資料</p> <p>(4) 専門資料とメディアの多様化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 資料特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2年前期(前半)	
【授業目標】 印刷資料、視聴覚資料、デジタル資料等、図書館資料がもつ特質と役割を理解し、利用のために必要な機器操作等の技能を習得する。	
【テキスト】 なし	
【参考書】 『資料特論』(新・現代図書館学講座14) 東京 東京書籍 1998 『図書館資料論』(新編 図書館学教育資料集成5) 東京 教育史料出版会 1998	
授 業 計 画	
<p>図書館資料には、郷土資料と行政資料、印刷資料と視聴覚資料等、その資料が有する役割と特性がある。それぞれの特性を理解した上で、効果的なライブラリーの運用方法とレファレンス・ワークについて考える。また、自主資料制作のために必要な撮影技術や編集技能を習得する。</p> <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.資料のもつ役割と特性 2.図書館資料の多様化と特色ある運用 3.実習：視聴覚資料の制作 <ul style="list-style-type: none"> 8mmビデオ撮影 ビデオ編集 	
【評価方法】 レポート／制作資料	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。また、身振りや表情など、非言語的な情報の伝達についても学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しません。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 態度変容(第1日)</p> <p style="padding-left: 2em;">態度と説得的コミュニケーション</p> <p style="padding-left: 2em;">説得への抵抗とリアクタンス理論</p> <p>2. 承諾誘導(第2日)</p> <p style="padding-left: 2em;">社会的勢力</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな承諾誘導技法</p> <p>3. 非言語的コミュニケーション(第3日)</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな非言語的コミュニケーション</p> <p style="padding-left: 2em;">言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)</p>	

【授業科目】 図書館特論	【担当者】 落合 美代
【開講期】 2 年 前期 (後半)	
<p>【授業目標】</p> <p>学習形態が多様化している今日において、図書館が収集提供する資料—特に視聴覚資料を中心として—その特性と、運用方法について習得する。また、メディア・スペシャリストの資質について考察する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】 『図書館サービス論』 (新編 図書館学教育資料集成3) 東京 教育史料出版会 1998 『情報サービス概説』 (JLA図書館学情報学テキストシリーズ4) 東京 日本図書館協会 1997</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今日の図書館が収集提供すべき資料の種類と特性について理解する。 ・図書館資料を活用するために必要な機器の特性と操作技能を学習する。 ・メディア・ライブラリアンの資質とレファレンス・サービスについて考察する。 <p style="text-align: center;">* 内 容 *</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の特徴と資料 2. 視聴覚ライブラリーの役割と運用 3. 視聴覚機器の特性と操作 4. 司書とメディア・ライブラリアン 	
【評価方法】 レポート等	

学籍番号・

氏 名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
教務課042(346)5619